
観光案内サイン 整備ガイドライン

平成21年7月

奈良県

はじめに

奈良県には、世界遺産等の国内有数の歴史的文化資源が多数存在するものの、目的地（観光地）までスムーズに到達できないという観光客の声も少なくない。2010年の平城遷都1300年記念事業をはじめ、今後奈良県への観光を目的とした来訪者はこれまで以上に増えることが予想される。このことから、観光客に対するわかりやすい案内を充実し、奈良の歴史・文化等を最大限にアピールしていくことが求められる。

このような背景の下、観光案内サイン整備ガイドライン（以下、「ガイドライン」）は、観光地への経路・方向や、地点・地理に関する情報が的確に得られ、観光周遊を促進するための観光案内サインの整備のあり方について、「奈良県わかりやすいみち案内 検討委員会 平成20年度」（以下「委員会」）で検討を重ねた結果を踏まえてとりまとめたものである。

歩行者系の観光案内サインについては、奈良公園周辺をモデル区域として奈良県全体に適用できるものとして、歩行者系標識の検討の進め方や整備に関する基本的なルールを中心にとりまとめた。

一方、車両系の観光案内サインについては、標識令に基づく道路標識としてではなく、奈良らしいデザインを考慮したウェルカムサインや観光施設の案内を前提にした。これは、県内の観光地に自動車で訪れる人の多くがリピーターであることから、奈良の観光地、歴史・文化をアピールすることに力点を置く方が効果的と考えられたためである。

なお、車両系の観光案内サインは、設置位置、デザインおよび設計は完了しており、順次奈良県が整備していく段階に入っていることから、本ガイドラインは、歩行者系の観光案内サインに主眼を置いている。

本ガイドラインは、観光案内サインについて、その公共的意義から整備の際に留意すべき事項をとりまとめたものであるが、地域によって地理的・道路網特性や観光施設等の状況が異なることから、各地域における具体的措置の段階では、本ガイドラインを基本的な指針としつつ、関係機関が連携、協力しながら柔軟に対応することを要望するものである。

目 次

1. ガイドラインの対象範囲	1
2. 歩行者系の観光案内サイン	2
(1) サインの種類.....	2
(2) 案内方針の検討手順.....	4
1) 検討のフロー.....	4
2) 歩行者系案内サイン整備にあたっての視点.....	5
3) 対象範囲の設定.....	6
4) 観光資源の整理.....	7
5) 観光行動実態の調査・把握.....	8
6) 観光施設のランク付け.....	9
7) 案内経路・方針の設定.....	11
(3) 案内内容の検討方法.....	12
1) 歩行者系案内サインで提供すべき情報.....	12
2) 図解（地図）標識に表示する情報.....	13
3) 指示標識に表示する情報.....	17
4) 周遊促進標識に表示する情報.....	20
(4) 配置計画の検討方法.....	22
1) 図解（地図）標識の配置.....	22
2) 指示標識の配置.....	23
3) 周遊促進標識の配置.....	24
4) 指示標識の連続性検証.....	26
5) 標識の設置位置の考え方.....	28
(5) デザイン.....	29
1) デザインコンセプト.....	29
2) 基調色と基本形状.....	29
3. 車両系の観光案内サイン	31
(1) サインの種類.....	31
(2) 表示内容.....	32
(3) デザイン.....	33
1) 広域サイン.....	33
2) 中域サイン.....	36
(4) 配置計画.....	37
1) 対象道路網.....	37
2) 配置計画の想定交通.....	37
3) 配置計画.....	38
4. 観光案内サインのマネジメント	40
(1) 維持管理とマネジメントの仕組みづくり.....	40
5. 参考資料	42
(1) 奈良公園エリアのアンケート調査票.....	42
(2) 文字の書体・大きさ.....	49
(3) 外国語表記.....	50
(4) ピクトグラム.....	52

1. ガイドラインの対象範囲

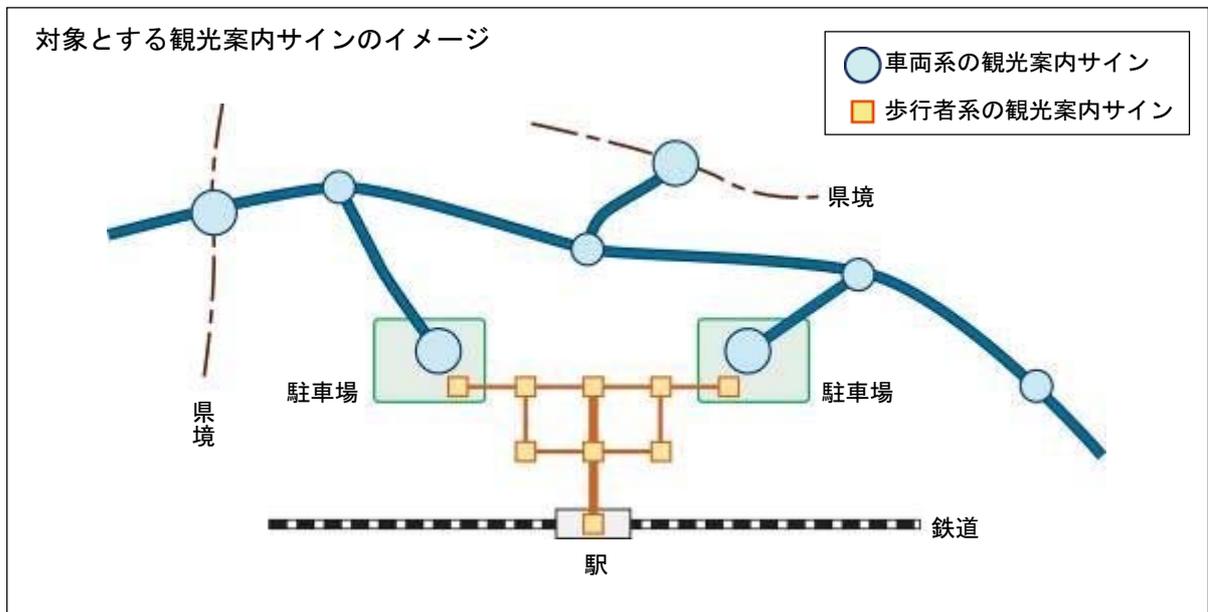
○ガイドラインが対象とする観光案内サインは、利用者が目的地まで移動する際に現地で活用されるもので、以下を対象とする。

①歩行者系の観光案内サイン

観光行動の起点（駅・駐車場等）から観光施設に至るまでの経路上で、道路管理者、自治体、公園施設管理者、鉄道・バス等の公共交通事業者が、観光施設を案内する目的で設置・管理するもの。

②車両系の観光案内サイン

奈良県境および各観光エリアへの主要な経路上で、道路管理者が設置するもの。



2. 歩行者系の観光案内サイン

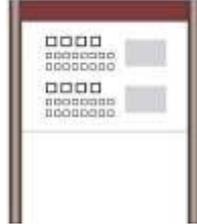
(1) サインの種類

○本ガイドラインで取り扱うサインの種類は、図解標識、指示標識、および周遊促進標識の3種とする。

歩行者系の観光案内サインを整備するにあたっては、仕様の混在、重複した案内、情報過多等を避けることを重視し、使用する標識の種類を以下のように定め、統一的な整備を進めることとする。

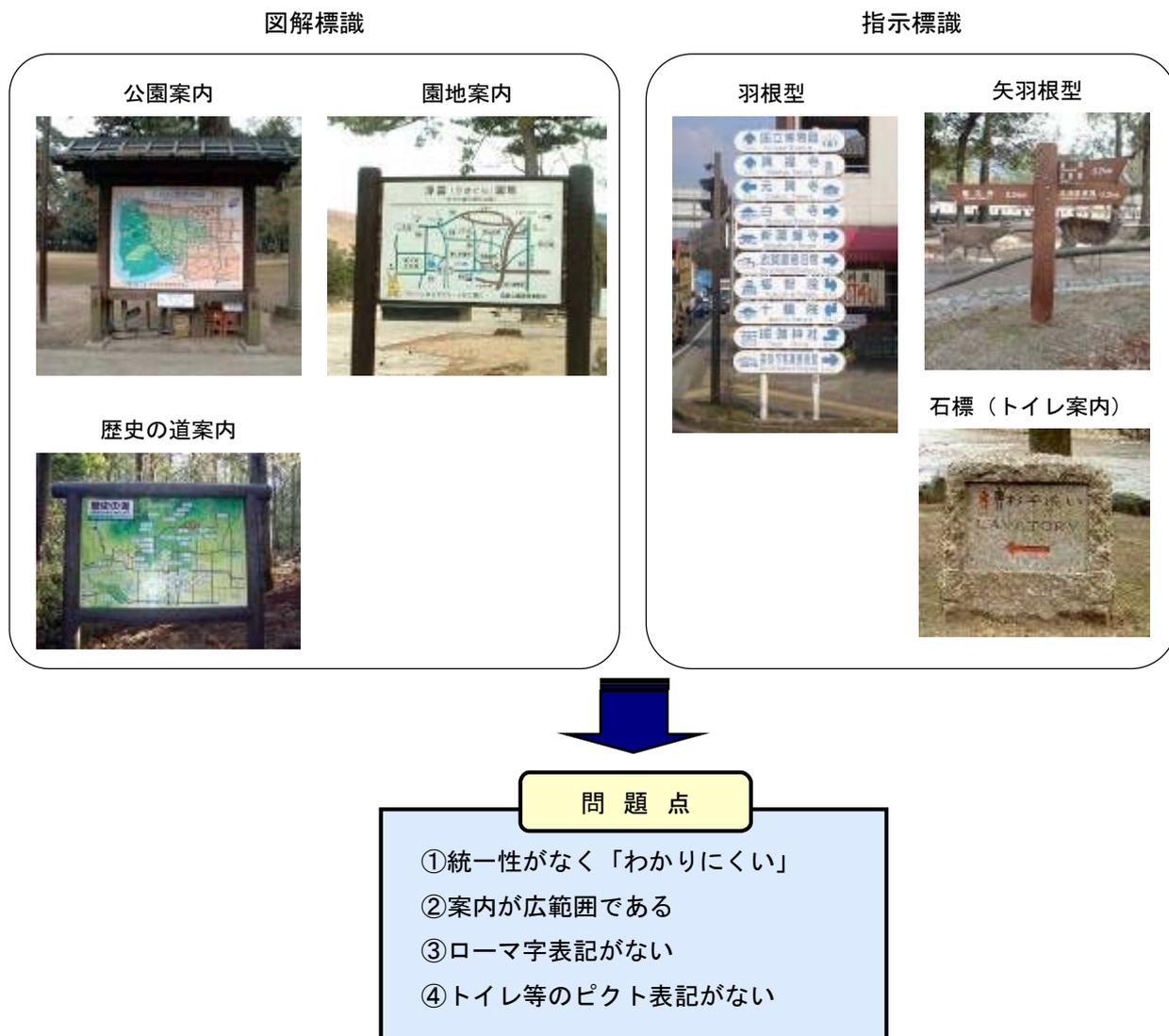
本ガイドラインで取り扱う図解標識、指示標識、および周遊促進標識の機能概要を図表 1 に示す。

図表 1 歩行者系サインの種類と機能概要

種類	機能概要	姿イメージ (例)	適用
図解 (地図) 標識	地図をメインに表示し、現在地、周辺観光施設等の位置関係を面的に把握させる。		地図はデフォルメされたものではなく、距離や歩道が正確に表示されたものとする。 ※原則は「地図を用いた道路案内標識ガイドブック」(2003年11月、国交省道路局監修)の附録1の基本仕様(案)に準拠
指示標識	目的とする観光施設等への方向および距離等を表示し誘導させる。		見通しが悪く、先へ進むことをためらうような区間で、図解標識が設置困難な場合等は経路の先に何があるかを表示した「経由地案内標」の設置も可能とする。  手持ち地図やガイドブック等との連携が可能な場合は、各地点固有の記号・番号を表示し、現在位置を識別させる「固有番号標」を併設することも可能とする。 
周遊促進標識	主要観光施設周辺において、次への周遊を促進するために、特徴・魅力等を写真等とともに提供する。		指示標識と併設し、案内施設を整合させる。

【参考：奈良公園周辺における歩行者系案内サインの現状】

奈良公園周辺における歩行者系案内サインの現状として、各主体が個別にサインを整備しているため、統一性がなくわかりにくいといった問題や、案内が広範囲すぎて歩行者のニーズに合っていないといった問題が指摘されている。(図表 2)

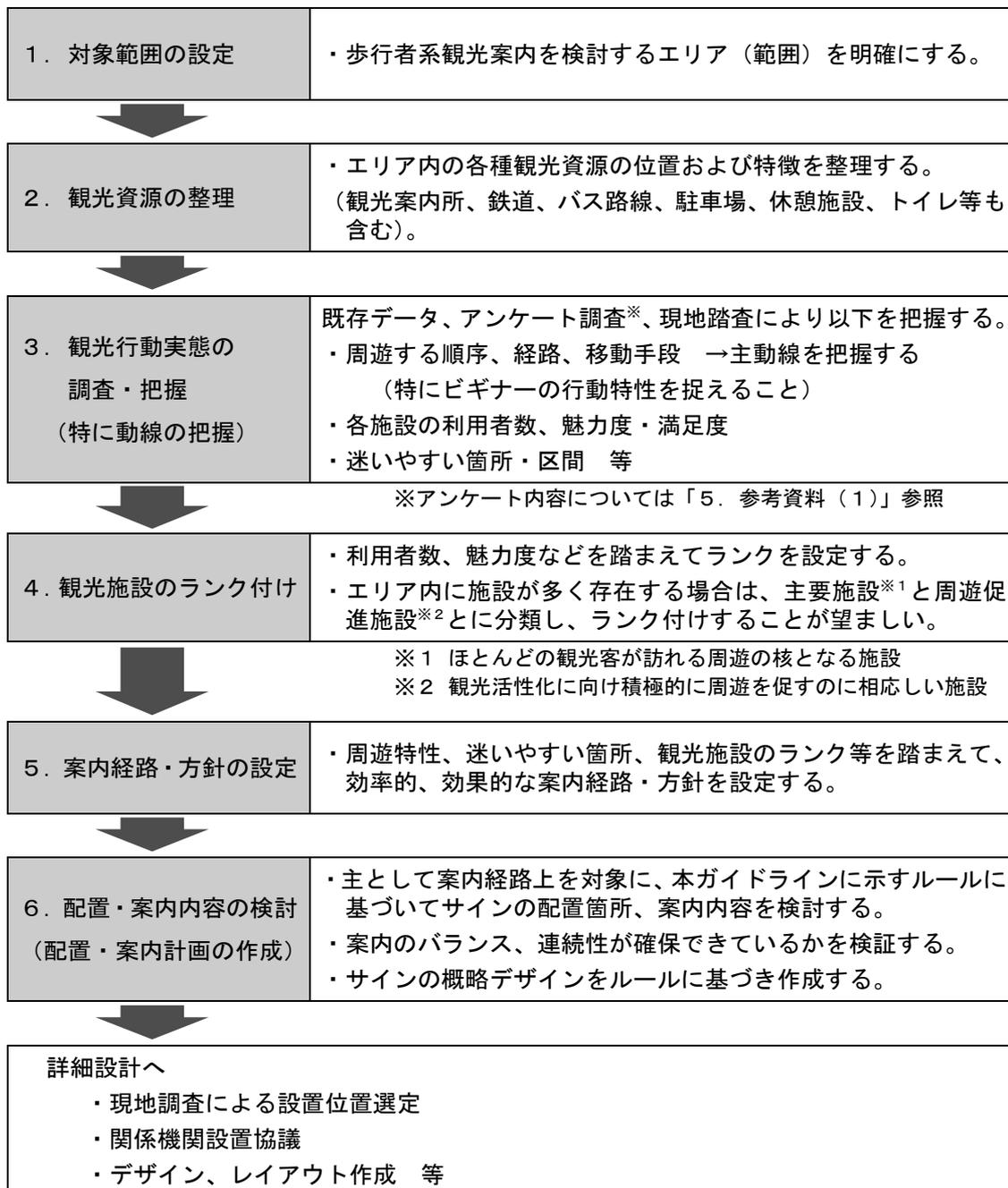


図表 2 歩行者系案内標識の現状 (奈良公園周辺)

案内方針の検討手順

1) 検討のフロー

検討は以下のように進めることを基本とする。

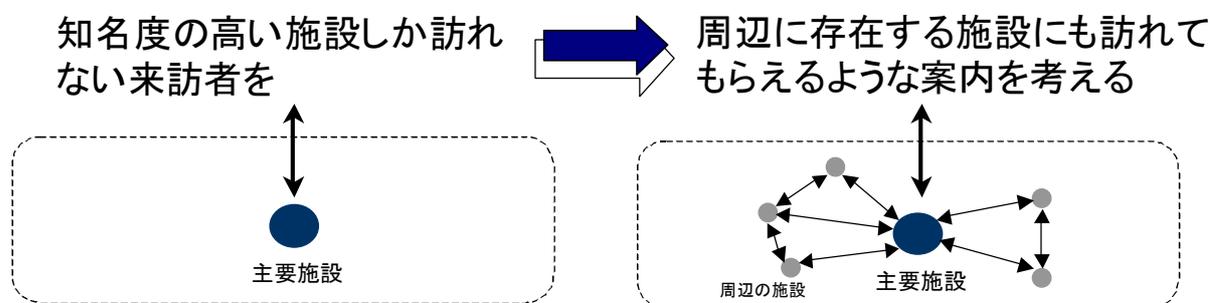


2) 歩行者系案内サイン整備にあたっての視点

○歩行者系案内サインを整備するにあたっては、初めて訪れる人でも迷うことなく快適に目的地に辿り着け、思わず寄り道や長居したくなるような案内体系を実現し、リピーターの増加、地域のPR、周遊促進を図ることを重視する。

歩行者系案内サイン整備にあたっての視点を以下に示す。

- 視点1：初めて訪れる人にもわかる案内 → 土地勘のない人を前提とする
- 視点2：観光客の情報ニーズに即した案内 → 観光情報の他、トイレ、休憩所等…
- 視点3：周遊性を高める案内（下図参照）



図表 3 周遊性を高める案内のイメージ

対象範囲の設定

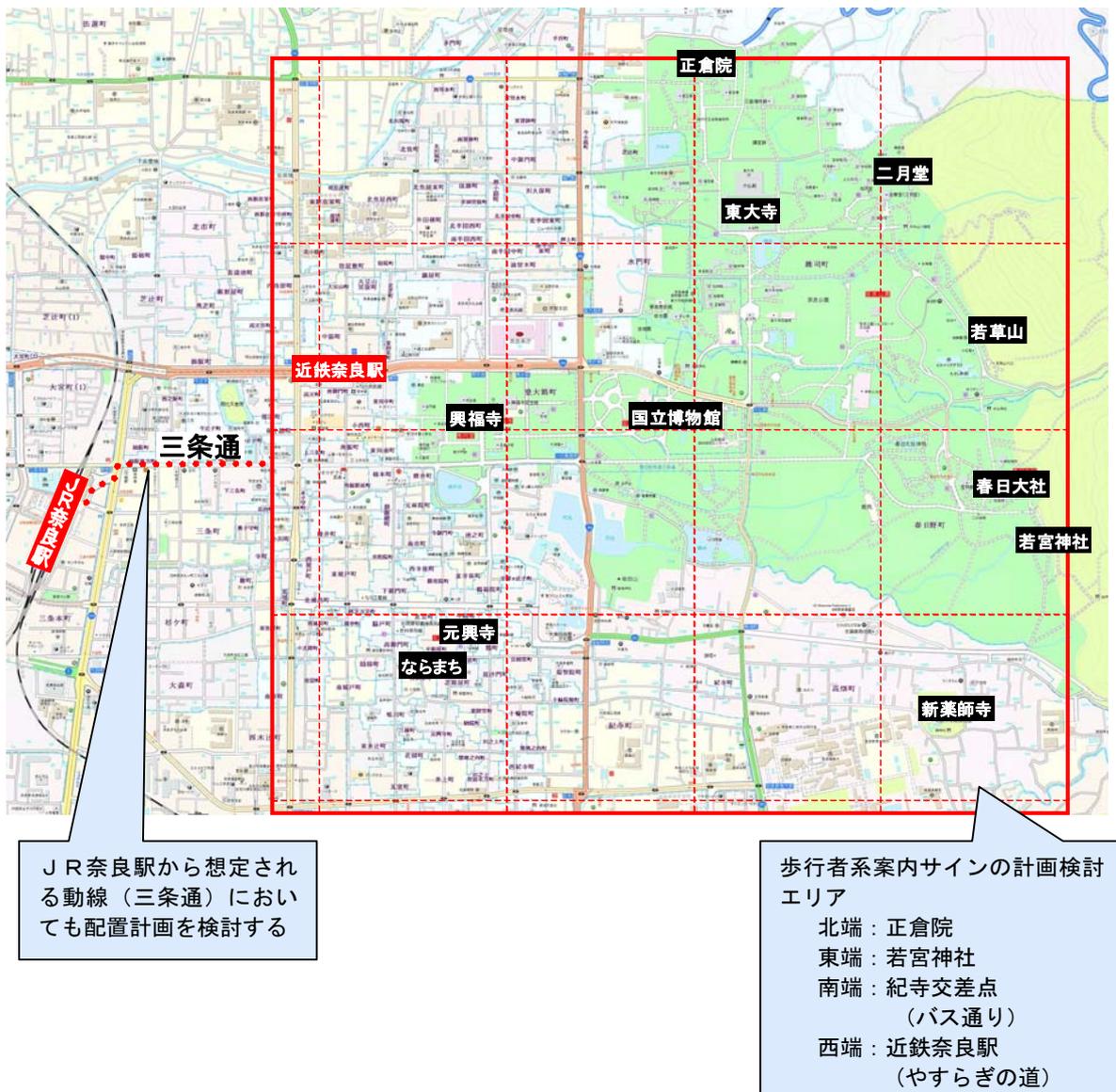
○歩行者系案内サインを整備する対象範囲は、観光客が徒歩で周遊できる主な観光施設および主な交通拠点（駅、主要な観光駐車場等）が含まれる範囲を基本として設定する。

【参考：奈良公園周辺における対象範囲の設定例】

奈良公園周辺における歩行者系案内サインの整備対象範囲の設定例を以下に示す。

奈良公園周辺においては、主要な観光施設および最寄り駅である近鉄奈良駅を含む範囲を整備対象範囲とした。

ただし、JR奈良駅についても観光行動の起点として重要であるため、JR奈良駅と奈良公園方面を結ぶ主要な動線である「三条通」を、補足的に整備対象に加えた。

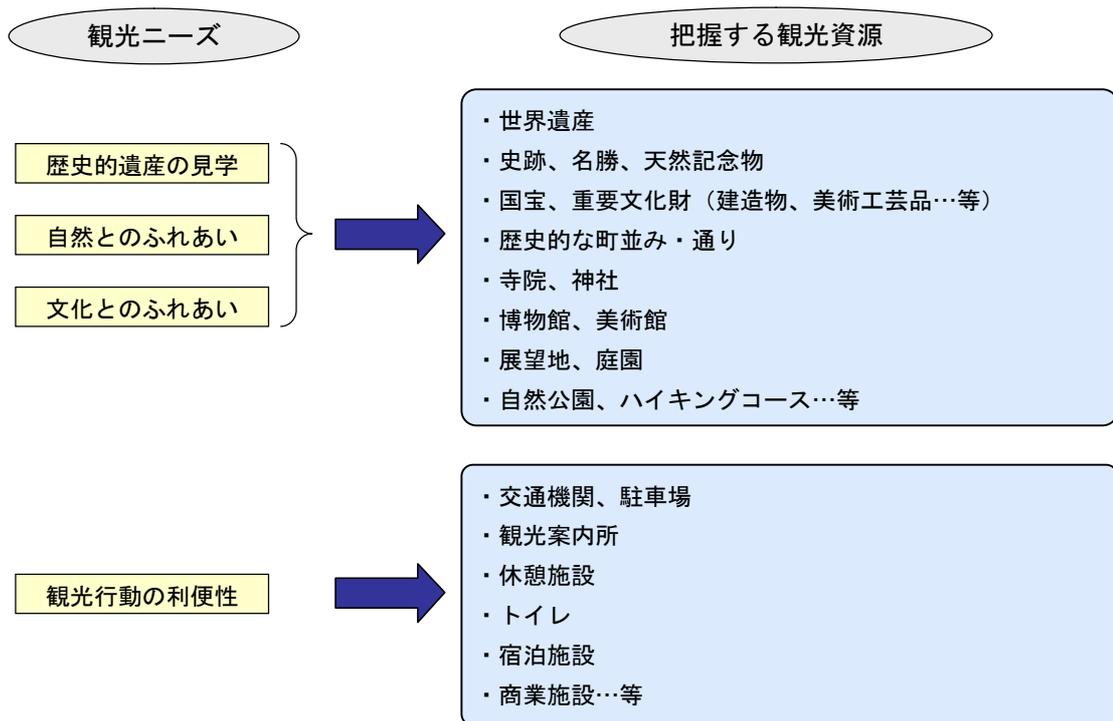


図表 4 奈良公園周辺における対象範囲の設定例

観光資源の整理

○観光資源の整理にあたっては、著名な観光施設だけでなく、様々な観光ニーズを満足するよう、複数のメディア（観光ガイドブック、観光協会等発行の地図、観光案内所、インターネット等）を使って、対象範囲内の観光資源を抽出し、位置および特徴等を整理する。

奈良を訪れる観光客の多様なニーズに対応するため、以下のような観点で観光資源を抽出する。



抽出した観光資源は、地図上にプロットして位置関係を整理するとともに、その特徴を簡潔な文章で一覧整理する。

観光行動実態の調査・把握

- 既存データ整理、アンケート調査、現地踏査等により、交通拠点および観光エリア内の主動線の現状、各観光施設の利用者数や満足度、迷いやすい箇所や区間等を把握する。

対象観光エリアを初めて訪れる観光客（ビギナー）は、リピーターに比べて迷いやすいことから、特にビギナーの行動特性を捉えるよう配慮して、現状調査を行う。

アンケートは、各エリアの特性に応じて必要な事項を検討して行うこととするが、観光行動の実態を把握する為に、以下のような項目を含めることが望ましい。

- ・観光エリアへの来訪経験
- ・観光行動の起点・終点
- ・訪れた観光施設（はじめから順に3箇所程度）
- ・訪れた観光施設の満足度（魅力度）
- ・訪れた観光施設の個別の来訪経験
- ・起終点および各観光施設間の移動手段
- ・通行したルート（地図上に記入）

なお、奈良公園周辺のアンケート調査票のサンプルを巻末に掲載する。

観光施設のランク付け

- エリア内の観光資源の分布状況および観光行動実態の調査結果を踏まえて、歩行者系案内サイン（指示標識および周遊促進標識）で誘導すべき施設を抽出する。
- 観光資源が多数ある場合は、観光客の周遊特性を踏まえて、来訪者が多く周遊の核となる施設を選定するとともに、観光の満足度向上の視点から積極的に周遊を促すにふさわしい施設をランク付けした上で選定する。

観光行動実態の調査の結果から、特に来訪者の多い施設は、当該観光エリアにおける周遊の核となる「主要施設」と位置付ける。

また、「主要施設」だけでなく、多様な観光資源に接して観光の満足度を向上してもらうことを目的として、周遊を促進すべき魅力的な観光施設「周遊促進施設」もあわせて選定する。

【参考：奈良公園周辺における案内対象施設選定例 1/2】

奈良公園周辺は観光資源が多数あることから、以下のように周遊促進施設のランク付けを行った。

図表 5 奈良公園周辺における案内対象施設選定例

分類	定義	観光施設の選定
主要施設	現状で来訪者の多い施設	<ul style="list-style-type: none"> ・東大寺 ・興福寺 ・奈良国立博物館 ・春日大社
周遊促進施設	観光満足度向上の視点から、主要施設から派生的に周遊を促すのにふさわしい施設	以下の条件を指標として観光施設をランク付けし、周遊促進施設を選定する。 <ul style="list-style-type: none"> ・魅力度評価（アンケート結果）の高い施設 ・見どころの豊富な施設（国宝・重要文化財等がある） ・奈良市からの推薦がある施設…等

奈良公園周辺で指示標識及び周遊促進標識で誘導対象とする施設は、右図のランク付け案における「Aランク」の施設とした。

奈良公園周辺における観光施設のランク付け(案)

		Aランク	Bランク	Cランク
文化財指定等	入場可	国宝がある施設	重文がある施設	
	制入限場		国宝がある施設	重文がある施設
自治体意向		奈良市の推薦有		
知名度満足度		アンケートで魅力度高得点	アンケート自由意見に記載有り	観光ガイドに記載有

【参考：奈良公園周辺における案内対象施設選定例 2/2】

■ 奈良公園周辺におけるランク付け設定例

名称	国宝	重要文化財(国指定)	奈良市の推薦	アンケート魅力度高得点	アンケート自由意見記載有(5人以上)	ガイドブック	ランク	公開制限(閉鎖日)	概要	備考
若草山			○			○	A	夏季・冬季	毎年1月に山焼き。夏季・冬季は芝生保護のため入山が規制される。	東大寺周辺
新薬師寺 しんやくじ	○	○		○		○	A		本尊木造薬師如来坐像〔国宝〕とそれを囲む等身大の塑造十二神将立像〔国宝〕が有名。	
春日山原始林 (春日山遊歩道から見学)		○(春日山石窟仏)	○		○	○	A		1000年以上手つかずの常緑広葉樹林からなる原始林。特別天然記念物。世界遺産。	春日大社周辺
滝坂の道(柳生街道・東海自然歩道)		○(春日山石窟仏)	○			○	A		柳生街道の一部で、道沿いに多くの石仏がある。東海自然歩道。春日山遊歩道と一部並行する。	
入江泰吉(いりえ たいきち)記念奈良市写真美術館			○		○	○	A	月曜日休	奈良の風景や仏像を撮り続けた故入江泰吉氏の作品を展示。	
志賀直哉旧居			○		○	○	A	木曜日休	志賀直哉が昭和4年から9年間住んだ旧居。	
浮見堂			○			○	A		奈良公園・鷺池に浮かぶ檜葺き(ひわだぶき)、八角堂形式(六角形)のお	国立博物館周辺
県立美術館			○		○	○	A	月曜日、年末年始休	主に奈良県下で活躍した芸術家の作品を展示。	県庁周辺
元興寺 がんこうじ	○	○	○			○	A		6世紀末に開かれた法興寺(飛鳥寺)が、平城遷都に伴い移転された。かつて大寺院の建物のうち、僧坊(極楽坊)の一画が現存。収蔵庫には国宝等多数保存。世界遺産。	
十輪院	○	○				○	A		珍しい石仏龕(せきぶつがん)(重文)	

名称	国宝	重要文化財(国指定)	奈良市の推薦	アンケート魅力度高得点	アンケート自由意見記載有(5人以上)	ガイドブック	ランク	公開制限(閉鎖日)	概要	備考
手向山八幡宮 たむけやまはちまんぐう		○				○	B		東大寺大仏建立にあたり、東大寺守護の神としてまつられた。紅葉の名所。	
氷室神社		○			○	○	B		氷池や氷室をつくり、天候を呪ったのが始まり。献氷祭ではコイ等を封じ込めた氷柱が供えられる。	東大寺周辺
依水園・寧楽美術館 いすいえん・ねいらくびじゅつかん		○			○	○	B	火曜日休	若草山や東大寺南大門などを借景として取り入れた池泉回遊式庭園。園内の寧楽美術館では東洋古美術品を展示。	
円窓亭		○				○	B		春日大社経庫を改造したもの(鎌倉時代)。	
頭塔 ずとう		○				○	B		奈良時代の13個の石仏が3段にわけて配置されている。いずれも天蓋を有しているのが特徴で、美術的価値も高いもの。	博物館南側

名称	国宝	重要文化財(国指定)	奈良市の推薦	アンケート魅力度高得点	アンケート自由意見記載有(5人以上)	ガイドブック	ランク	公開制限(閉鎖日)	概要	備考
シルクロード交流館						○	C	月曜日、年末年始休	「ならシルクロード博覧会」の足跡やシルクロードの歴史と文化、奈良とのかかわりなど展示。	東大寺周辺
吉城園 よしきえん						○	C	火曜日休	依水園に隣接。日本庭園と離れ茶屋から成り、春日山、若草山を借景として取り入れている。杉苔が美しい。	東大寺周辺
子規の庭(天平倶楽部)						○	C		正岡子規ゆかりの地に、句碑とともに子規が好んで詠んだ草花を植え、東大寺大仏殿と若草山を借景とする庭園とし	
片岡梅林(奈良公園内)						○	C		円窓亭を取り囲むように植えられ、地名から片岡梅林と呼ばれている。	博物館南側
奈良県商工観光館 (きてみてならSHOP)						○	C	月曜日、年末年始休	県内の観光と商工業をPR的に紹介。	興福寺周辺
藤岡家住宅		○				○	C	水曜日(現在閉鎖中)	江戸時代に建てられた商家(重要文化財)。	
誕生寺 たんじょうじ						○	C	不定	當麻寺本尊の當麻曼荼羅を織った中将姫誕生地。	
徳融寺 とくゆうじ						○	C		もとは元興寺の別院。當麻寺本尊の當麻曼荼羅を織った中将姫ゆかりの寺	

案内経路・方針の設定

○各観光エリアにおける観光資源の種類や分布状況、観光客の周遊特性、迷いやすい箇所等を踏まえて、効率的、効果的な案内経路・方針を設定する。

観光客の周遊特性を踏まえて、「主要施設」と「周遊促進施設」とを効率良く周遊できる案内経路（主経路・周遊促進経路）を設定し、それに応じた案内方針を設定する。

また、迷いやすい区間や経路が特定できないエリアについては、別途その経路の状況に応じた案内方針を設定することとする。

図表 6 主経路と周遊促進経路の定義

案内経路の区分	定義
主経路（メイン経路）	主要施設間の往来のために、多く使われている経路
周遊促進経路	主要施設を起点として、周遊促進施設へ導くための経路

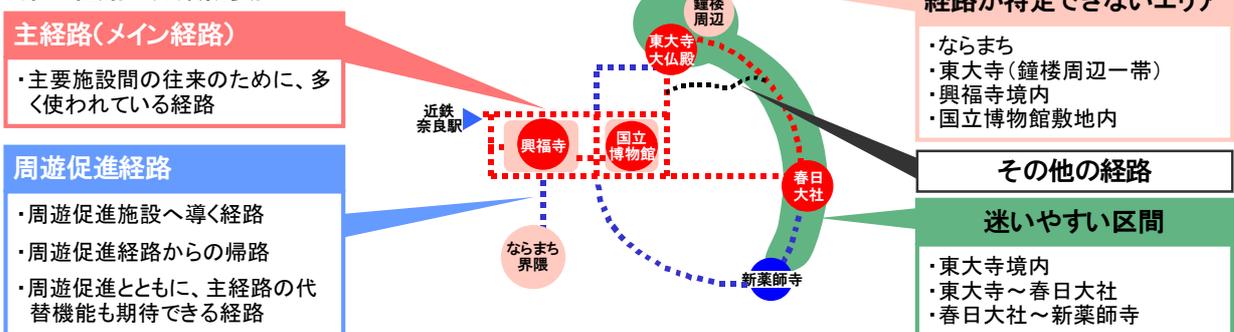
【参考：奈良公園周辺における案内経路・方針の設定例】

奈良公園周辺における観光客の周遊特性を踏まえて、主経路・周遊促進経路を設定するとともに、迷いやすい区間等を把握した上で案内方針を設定した。

図表 7 奈良公園周辺における案内経路・方針の設定例

案内経路の分類		経路上での案内方針
主経路（メイン経路）	主要施設間の往来のために、多く使われている経路	とにかく、主要4施設まで確実に導くことに力点を置く。
周遊促進経路	主要4施設を起点として、周遊促進施設へ導くための経路	まず、興味・関心を持ってもらい、そこまで確実に誘導する。
迷いやすい区間	迷った人の数・割合が多い区間	不安にならないよう手厚く案内する。
経路が特定できないエリア	施設や道路が密集し、さまざまな経路をとりうるエリア	経路誘導型ではなく、経路を特定しない面的な案内を行う。
その他の経路	その他、公園内の主な散策路	迷い込んだ場合でも方向が判るよう案内する。

（案内経路の分類概要図）



(2) 案内内容の検討方法

1) 歩行者系案内サインで提供すべき情報

○歩行者系案内サインで提供すべき情報は、観光客が求める情報のうち、観光施設や休憩施設等の位置関係やそこまでの経路、ならびに利用に関する情報とする。

観光情報の案内手段には、歩行者系案内サインの他に、観光案内所、手持ちの観光マップ・ガイドブック、パソコンや携帯電話などの機器というように多岐にわたる。

このような案内メディア毎に提供できる観光情報の量や、その長所・短所は異なるため、相互に補完・連携しあい、総合的な案内体系として機能させることが必要である。

そこで、他メディアとの役割分担を考慮し、歩行者系サインで提供すべき情報の位置付けを図表 8 に整理する。

「歩行者系サインで提供すべき情報（赤枠部分）」の“位置関係・そこまでの経路”に関する情報は、主として「図解標識」および「指示標識」で対応し、“利用情報”に関する情報は、主として「周遊促進標識」で対応する。

観光客が求める情報	位置関係・そこまでの経路	利用情報	一時的な情報等	
		〔概要説明 ・利用時間 ...等〕	〔特別展 ・臨時休業 ...等〕	
・現在地情報	提供すべき情報 案内サインで	—	—	
・現在地周辺の歩行環境(横断歩道等)		—	観光案内所 での情報提供	
・観光施設等		手持ちマップ ガイドブック等 での情報提供		インターネット等 での情報提供
・トイレ、休憩施設等				
・交通機関等				
・宿泊施設等				
・飲食店、土産店等				

※宿泊施設・飲食店等については案内対象としないこととするが、大規模施設はランドマークとして地図上に表示する。

図表 8 歩行者系案内サインで提供すべき情報の位置付け

2) 図解(地図)標識に表示する情報

- 図解標識は、原則として「地図を用いた道路案内標識ガイドブック」(2003年11月、国交省道路局監修)の附録1の基本仕様(案)に準拠する。
- 図解標識の凡例部分には、基本的に外国語(英語、中国語(簡体字)および韓国語)を併記する。

■ 構成

図解標識は、「地図を用いた道路案内標識ガイドブック」(2003年11月、国交省道路局監修)に示された基本原則を踏まえたものとし、「主地図」、「広域図」および「凡例」を基本的な構成要素とする。

■ 縮尺・向き

主地図は、1/1,500の縮尺で、1m×1mのサイズを基本し、1.5km四方を表示する。

広域図は、当該観光エリア全体の範囲を表示する。

地図の向きは、主地図・広域図ともに、立っている位置から移動方向を伝えやすい現場合わせ式とする。

■ 表示内容

主地図には、一般的な情報として、図表9に示す施設等を表示することを基本とするが、観光施設の重要度(ランク)に応じてピクトなどで目立たせる等、メリハリをつける。

また、案内経路のうち主経路を、「主な観光コース」として地図上に表示する。

広域図には、主地図の表示範囲を示すとともに、主要なランドマークと重要度の高い観光施設のみを表示する。

主地図および広域図内の四隅のいずれかの位置にスケール、方位、整備年月を配置する。現在地の位置は地図中心を基本とするが、観光エリアの特性や設置位置の状況に応じて適宜調整する。

■ 色彩

地図上で多くの色を用いると繁雑になることから、色数を抑さえて必要最小限を表示することを基本とする。

また、図上の表示は視認性に配慮して、図色と地色の明度差を大きく(5以上を目安)し、また、赤と緑、彩度の低い色どうし(灰色と薄緑等)など、色覚障害者が判別しにくい色の組み合わせを避けることとする。

一般的情報として地図標識に記載する施設は、国土地理院の地形図の表示基準をもとに、見やすさを考慮して選択することとするが、徒歩観光客に重要な情報として、トイレ・観光案内所等の公共的施設や、駅の出口・バス停等の交通施設、官公庁等のランドマーク等はわかりやすく表示する。

以降に表示情報の一覧を示すが、各地域毎に街の広がり、密度、観光利用者の特性などが異なっていることから、地図の表示範囲や情報内容も地域に合わせて検討する必要がある。

なお、使用するピクトグラムを巻末に掲載する。

図表 9(1) 主地図に表示することが望ましい一般的情報

○:表示情報(地図の見やすさを考慮し、適宜選択する。)

		地図に表示する一般的情報	ベース マップ	ピクト グラム	名称
ベース 図	地形・地盤	山、湾、島、半島、河川、湖、池、堀、 港、埠頭、運河、棧橋	○		○
	道 路	道路	○		○
		歩道	○		
		歩行者専用道路等	○		○
		ペDESTリアンデッキ、横断歩道橋	○		○
		地下横断歩道・階段部	○		○
		横断歩道	○		
		踏切	○	○	○
	地 点	インターチェンジ	○		○
		交差点(信号機)			○
		有名な橋、トンネル 等	○		○
	交通施設	鉄軌道路線	○		
		鉄軌道駅	○		○
		駅出口			○
		バス路線	○		
		バス等の公共交通機関のターミナル			○
		バス停			○
		タクシー乗り場			○
	行政界	旅客船ターミナル	○	○	○
		市、区、町	○		○
	丁、番地			○	

出典:地図を用いた道路案内標識ガイドブック
編集・発行:財団法人 道路保全技術センター

図表 9(2) 地図に表示するのが望ましい施設

		地図に表示する一般的情報	建物 シルエット	ピク ト グラム	名称
施設	案内所	案内所(有人)		○	
		情報コーナー		○	
	公共(的)施設	官庁又はその出先機関	○	○	○
		警察署	○	○	○
		交番		○	交番 ^{※1}
		郵便局(普通郵便局)	○	○	○
		郵便局(その他)	○	○	郵便局 ^{※1}
		消防署	○		○
		国(公社、公団除く)の機関および公共 地方サービス機関、その他官署	○		○
		病院	○	○	○
		学校	○		○
		幼稚園、保育園	○		○
		体育館、運動場	○		○
	文化施設	公会堂、公民館、図書館	○		○
		大規模な公園、遊園地、動物園	○		○
		美術館、博物館、文化会館、劇場	○		○
	公衆便所			○	
	名所、旧跡	神社、仏閣、寺院、教会、史跡	○		○
	大規模宿泊 施設／商業 施設、店舗	大規模なホテルおよび旅館	○	○	○
		大規模なデパート、スーパーマーケット	○	○	○
銀行・信用金庫			○		

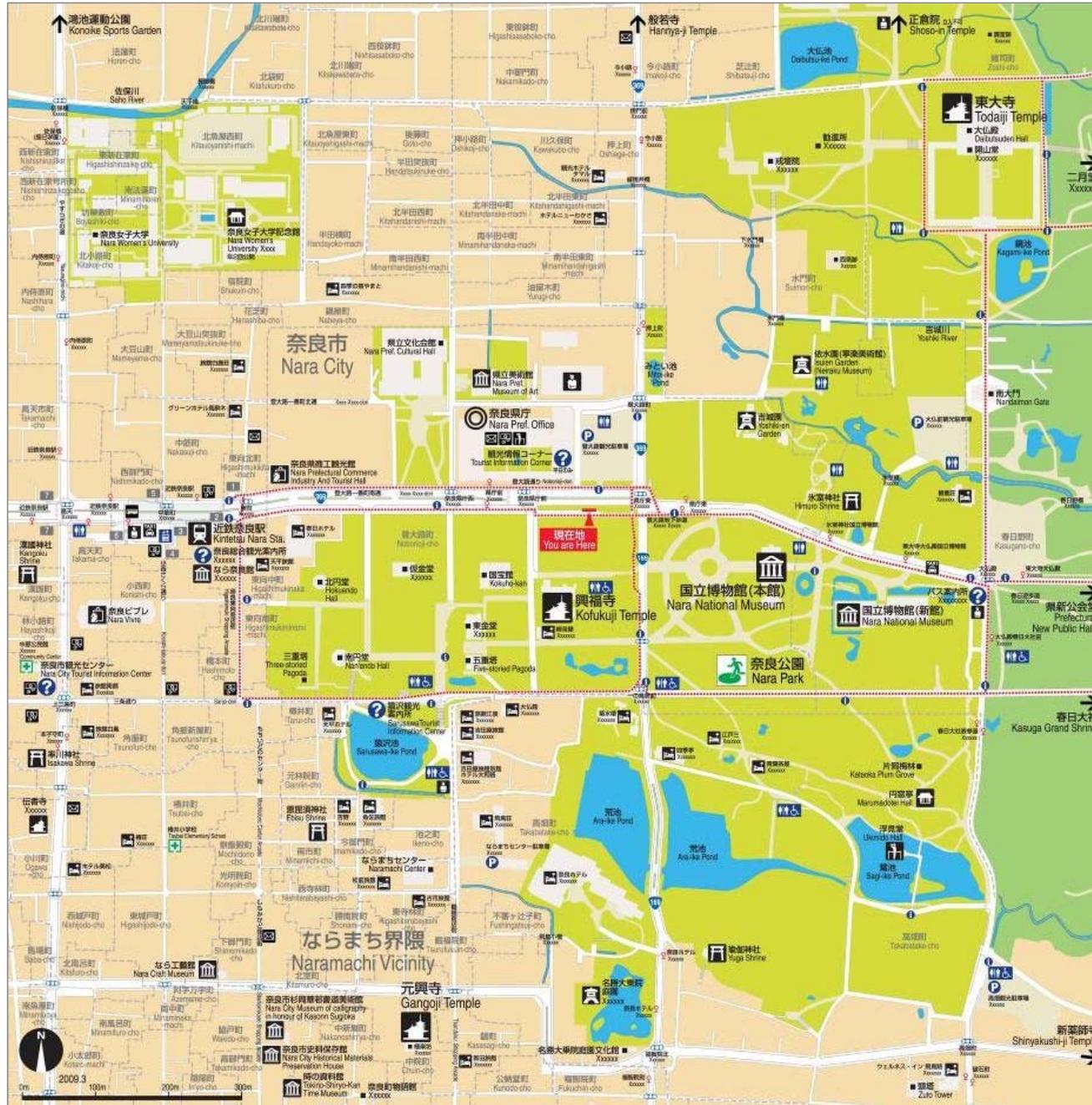
※ ベースマップ……線および面で構成される情報で基本的な情報として表示するもの
 建物シルエット……建物の外形を面的に表示するもの
 ピクトグラム……施設を意味する記号(標識令・標準案内用図記号^{※2}等)を表示するもの
 名 称……市町村名、施設名称等の各名称を文字情報として表示するもの

※1 固有名詞で表記するのではなく、「交番」、「郵便局」という表記をすることを指す。

※2 交通エコロジー・モビリティ財団が、日本財団の助成を得て設置した「一般案内用図記号検討委員会」で策定されたものである。委員会では1994年から約2年間の検討が行われ、2001年3月に125種類の図記号が「標準案内用図記号」として決定された。

出典：地図を用いた道路案内標識ガイドブック
 編集・発行：財団法人 道路保全技術センター

【参考：奈良公園周辺におけるモデル地図表示例】



現在地 Address 奈良市登大路町##
##, Noborioji-cho, Nara City

広域図 / Key Map

凡例 / Legend

- 主たる観光コース / Main sightseeing Course
- 主要観光路線 / 主要 관광 코스
- 停留所 / Bus Stop
- 公共バス / 公共汽车站
- 案内所 / Information Office
- 案内所 / 案内所
- 案内地図 / Information Map
- 案内図 / 案内図 (旅行用) / 案内지도
- 駐車場 / Parking
- 駐車場 / 駐車場
- 国道番号 / National Highway Route No.
- 国道号 / 国道番号
- エレベーター / Elevator
- エレベーター / 엘리베이터
- トイレ / Toilets
- 公共トイレ / 화장실
- 避難場所 / Safety Evacuation Area
- 安全避難場所 / 내피소
- 官公庁 / Govt. or Municip. Offices
- 政府機関 / 관공서
- 鉄道駅 / Railway Station
- 火車站 / 站
- 鉄道出口番号 / Railway Exit No.
- 铁路出口号码 / 站舍 出口 番号
- タクシーのりば / Taxi Stop
- 出租汽车站 / 出租汽车站
- バスターミナル / Bus Terminal
- 公交车总站 / 버스터미널
- 警察署 / 交番 / Police Station / Police Box
- 警察局 / 派出所 / 경찰서 / 파출소
- 郵便局 / Post Office
- 邮局 / 우체국
- 博物館 / 美術館 / 資料館 / Museum
- 博物馆 / 美术馆 / 资料馆 / 박물관 / 미술관 / 자료관
- 大型専門店 / 店舗 / Department Store / Shop
- 大型商場 / 商店 / 百货店 / 综合
- 銀行 / Bank (Money Exchange)
- 银行 / 은행
- ホテル / 宿泊施設 / Hotel / Accommodation
- 酒店 / 旅馆 / 酒店 / 숙박시설
- 寺院 / Temple
- 神社 / Shrine
- 神社 / 신사
- 歴史的建造物 / Historical monument
- 历史建筑物 / 历史遗迹 / 古建筑
- 展望地 / View point
- 观景点 / 전망지
- 庭園 / Garden
- 庭園 / 정원

- ①主地図
 - 表示サイズ : 1 m × 1 m
 - 表示範囲 : 1.5 km × 1.5 km
 - スケール : 1/1,500
- ②広域図
 - 表示サイズ : 25 cm × 25 cm
 - 表示範囲 : 2.5 km × 2.5 km
 - スケール : 1/10,000
- ③表示情報
 - 物理的な情報密度から「バス路線」、「丁目・番地」は非表示

注：表示されている施設や横断歩道などは、モデル地図作成のため既存資料で分ける範囲を作成したものであり、現状と異なる場合があるため、最新情報による確認が必要である。

※モデル地図中の「Xxxx」、「##」は、ダミー文字を示す。中国語、韓国語は、翻訳の一例である。

3) 指示標識に表示する情報

- 指示標識に表示する施設の数、情報過多を避けるため、目安として5施設程度までとする。多方向に指示する場合は、一方向につき2施設程度までを目安とする。
- 指示標識は、目的施設の名称、方向および距離（メートル）を表示する。
- 指示標識には、基本的に外国語（英語、中国語（簡体字）および韓国語）も併記する。

指示標識に関する現状の案内サインの問題として、一箇所での案内地名が多すぎて判りにくいという指摘がある。

そのため、情報過多を避け、かつ適切に誘導できるよう、アンケート等で得た観光客の周遊特性に基づき、観光客（特に初めて訪れる人）にとって必要最小限の地名を厳選して案内することとする。

■ 表示数

指示標識の表示数は、可能な限り5施設程度までという原則を踏まえることとするが、案内すべき施設の数や密度等の状況によっては、連続性を確保するため、例外的にやむを得ず表示数を1程度増加することも可能とする。

また、誘導すべき主要な施設が同一方向に複数ある場合で、それらを目的とするトリップが混在しており、連続性確保の観点からいずれの施設も省略できないと判断される場合は、例外的に一方向につき3施設まで表示することも可能とする。

■表示すべき施設の選定

表示すべき施設の選定は以下を基本とする。

観光施設	主要施設	原則としてすべての主経路上で表示。 周遊促進経路上では近くの主要施設を表示。	} 現地の状況に応じて適宜選択する。
	周遊促進施設	主要施設からの派生的な周遊を想定し、原則として、最も近い主要施設との間の経路上で表示する。	
帰路方向		原則として、すべての経路上で表示する。	
バス停等		起点および各主要施設では、必要に応じて、直近のバス停も指示標識で案内する。	

ただし、表示数に限りがある等の場合は、以下を基本として表示する施設を選定する。

- ・人の流れに沿った方向にある施設を優先的に表示する。
- ・来訪者数の多い施設、魅力度評価の高い施設、近い方の施設を優先的に表示する。
- ・複数の施設を併記する。

図表 10 指示標識に施設を表示しない、または総称や連名で表示する場合の考え方

判断ケース	現地の状況(例)	対応方針	具体例
やむを得ず表示しない	人の流れから見て、当該指示標識で誘導する必要性や効果が低い場合等	主要施設であっても、表示の優先順位を下げ、他の施設を表示する。	国立博物館 } 奈良公園東側では優先順位を下げる。 興福寺
	同ランクの複数施設が近接	来訪者数の多い施設 魅力度評価の高い施設 近い方の施設 } を優先的に表示し誘導する。	二月堂 (高魅力度)を優先的に表示
やむを得ず連名等で表示	複数施設を含む範囲を総称する名称がある	総称で表示し誘導する。 距離は、その範囲の最も近い地点までの距離を表示する。	JR 奈良駅方面から東向きに「奈良公園」と表示
	車両サイン等で連名表示あり	連名で表示し誘導する。 距離は、知名度の高い施設までの距離を表示する。	「元興寺・ならまち」と表示
	複数表示が不可欠(帰路等)	連名で表示し誘導する。 距離は、個別に表示する。	「近鉄奈良駅・JR 奈良駅」と表示

■表示順序

指示標識の基本的な表示順は、上段に主要施設（現地の状況に応じて選択する）、下段に周遊促進施設のうち距離的に近いものを表示する。

■多言語表示

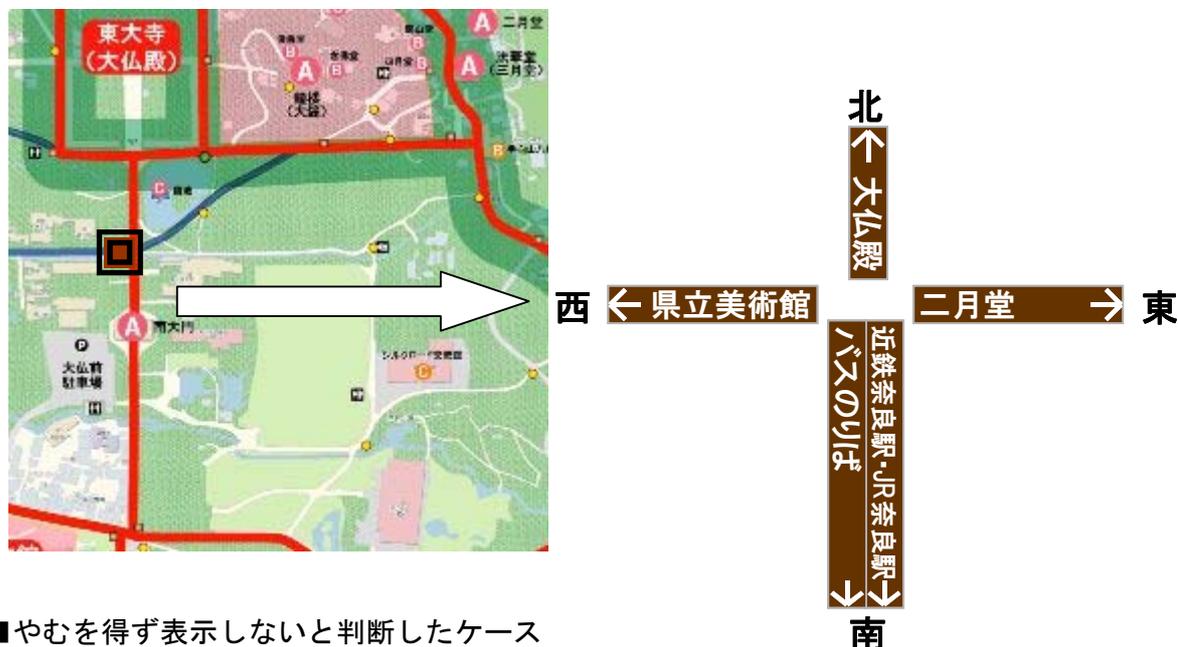
指示標識に表示する外国語は、基本的に英語、中国語（簡体字）および韓国語とする。



図表 11 指示標識の多言語表示例

【参考：奈良公園周辺における案内対象施設の選定例】

南大門北側の交差部の例では、案内対象となる施設が多数あることから、以下のような観点から、表示施設を選定した。



■やむを得ず表示しないと判断したケース

- ・ 東向きには、周遊促進施設3施設が密集（二月堂、法華堂、鐘楼）しているが、本地点から直接これらへ向かう人は少ないことから、代表として、魅力度高評価を得た「二月堂」1地点のみを表示する。
- ・ 南向きには、東大寺以外の主要施設があるが、境内を出た地点から誘導を開始することが適切であるため、本地点では個々の施設を表示しないこととする。

■やむを得ず連名で表示すると判断したケース

- ・ 南向きには、帰路方向を表示するが、近鉄・JRのいずれも表示が不可欠で、同一方向にあるため、連名で表示する。

4) 周遊促進標識に表示する情報

- 周遊促進標識は、周辺にある諸施設に興味を持たせ、行ってみたいと思わせるよう、これらの施設の特徴や魅力、施設までの移動所要時間、休館日等を説明した簡潔な文章および写真を表示する。
- 周遊促進標識には、基本的に外国語（英語、中国語（簡体字）および韓国語）も併記する。

周遊促進標識に記載する文章表現における留意点を以下に示す。

- ・施設や行事等に通称がある場合は、正式名称を記載した上で、続けて（ ）で通称名を記載する。 → (例) 修二会（お水取り）
- ・仏像を紹介する場合は、単に「〇〇像」ではなく、「〇〇座像」、「〇〇立像」と表現することで、正確性が高められる。 → (例) 阿修羅立像
- ・紹介文には、その対象の姿や状態を形容したり描写する言葉を加えることによって、読む人に想像させ、行ってみたいと思わせるきっかけとなる。
→ (例) 張り出して立つ回廊からの眺め
- ・文章表現について、簡素簡潔にまとめるためには体言止めがふさわしいが、周遊を促す上で、文末に形容詞や動詞等を用いた表現の方がふさわしい場合は、これらの文章表現が標識中に混在しても良い。 → (例) ことのほか美しい
- ・紹介文は、箇条書き3文までに納めた方が良いが、知名度は低い満足度の高い施設については、紹介文を増やしても良い。



図表 12 周遊促進標識の多言語表示例

【参考：奈良公園周辺における周遊促進標識の検討例】

図表 13 奈良公園周辺における周遊促進標識の検討例

東大寺からの周遊	春日大社からの周遊	興福寺からの周遊	国立博物館からの周遊
<p>■二月堂</p> <ul style="list-style-type: none"> ・張り出して立つ回廊からの眺めが素晴らしい。(国宝) ・修二会(お水取り)の行事で有名。 	<p>■春日山遊歩道</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1000年以上手つかずの春日山原始林(世界遺産、特別天然記念物)を一周する遊歩道。 ・春と秋のもみじはこのほか美しい。 ・春日山石窟仏など多数の石仏あり。 	<p>■興福寺国宝館</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仏像、古文書などの国宝・重要文化財を多数展示。 ・阿修羅立像(国宝)などの傑作仏像多数。 	<p>■県立美術館</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主に奈良県下で活躍した芸術家の作品を展示。
<p>■戒壇院</p> <ul style="list-style-type: none"> ・天平彫刻の傑作とされるほぼ等身大の四天王立像。(国宝) 	<p>■春日大社宝物殿</p> <ul style="list-style-type: none"> ・春日大社に伝わる国宝・重要文化財を多数展示。 ・平安から鎌倉、南北朝時代にかけての美術工芸品等多数。 	<p>■県立美術館</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主に奈良県下で活躍した芸術家の作品を展示。 	<p>■浮見堂</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鷺池に浮かぶ六角形の休憩施設。 ・桜、紅葉などが美しい。 ・ボート遊びもあり。
<p>■正倉院</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高床の校倉造りで有名な正倉。(国宝) ・宝物は非公開。(毎年秋に国立博物館で正倉院展を開催) ・正倉の外観のみ見学可。(平日のみ) 	<p>■新薬師寺</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本堂(国宝)は創建当初の唯一の遺構。 ・桜の花時の「おたいまつ」行事(4月8日)は圧巻。 ・秋の境内を彩る萩の花。 ・最古最大の塑造十二神将立像(うち11体は国宝)。 	<p>■ならまち界限</p> <ul style="list-style-type: none"> ・元興寺(世界遺産)を中心とした旧市街地。町並み散策に好適。 ・大和格子などの伝統的な町屋が立ち並ぶ。 ・木辻遊廓跡周辺は、中將姫伝説にまつわる寺が点在。 	<p>■ならまち界限</p> <ul style="list-style-type: none"> ・元興寺(世界遺産)を中心とした旧市街地。町並み散策に好適。 ・大和格子などの伝統的な町屋が立ち並ぶ。 ・木辻遊廓跡周辺は、中將姫伝説にまつわる寺が点在。

(3) 配置計画の検討方法

1) 図解(地図)標識の配置

- 主経路(メイン経路)上では、地図面の表示範囲(1.5km 四方)が途切れないよう 500~700m 以内の間隔で連続して配置することを基本とし、大きな信号交差点には原則として歩道上の4箇所に配置する。
- 鉄道駅や主要な駐車場等、観光行動の起点にも配置する。
- 周遊促進経路上では、歩行者の「たまり」空間、視認性の良い箇所等、歩行上の主要な地点に配置する。

2) 指示標識の配置

- 主経路（メイン経路）上では、基本的に図解標識に併設するが、図解標識と一体的な構造が不適切な箇所（実際の方向を正確に指示できない場合等）ではこれらを分離する等、現地の状況に応じて柔軟に対応する。
- 主経路（メイン経路）上のまぎらわしい分岐点等では、必要に応じて指示標識による単独案内を行う。
- 周遊促進経路上では、基本的に分岐点に配置する。
- 迷いやすい区間では、経路に沿って指示標識をきめ細かく設置することで対応するが、必要に応じて経路案内標の追加による補足的な案内も検討する。

迷いやすい区間における指示標識の追加設置位置は、以下のような地点を基本とし、現地の状況に応じて適切に選定する。

- ・分岐のない長い区間の中間部
- ・見通しの悪い屈曲部
- ・見通しの悪い坂、階段等の上下部

■ 経路案内標の考え方

以下のような条件の場合は、経路の先に何があるかを表示した「経路案内標」の設置も検討する。

- ・見通しが悪く、先へ進むことをためらうような区間において、位置関係を示すための図解標識の設置が困難、または経路案内標を設置する方が合理的な場合
- ・現地の状況から、指示標識をきめ細かく設置することが困難な場合
- …等

■ 固有番号標の考え方

以下のような条件が整った場合には、各地点固有の記号・番号を表示し、現在位置等を識別させる固有番号標の導入の可能性も検討する。

- ・閉鎖的なエリア内、または経路内において、統一した設置が可能な場合
- ・手持ち地図やガイドブックにも同様の番号を記載することが可能な場合
- ・番号等による位置確認方法が広く一般観光客に周知されている場合

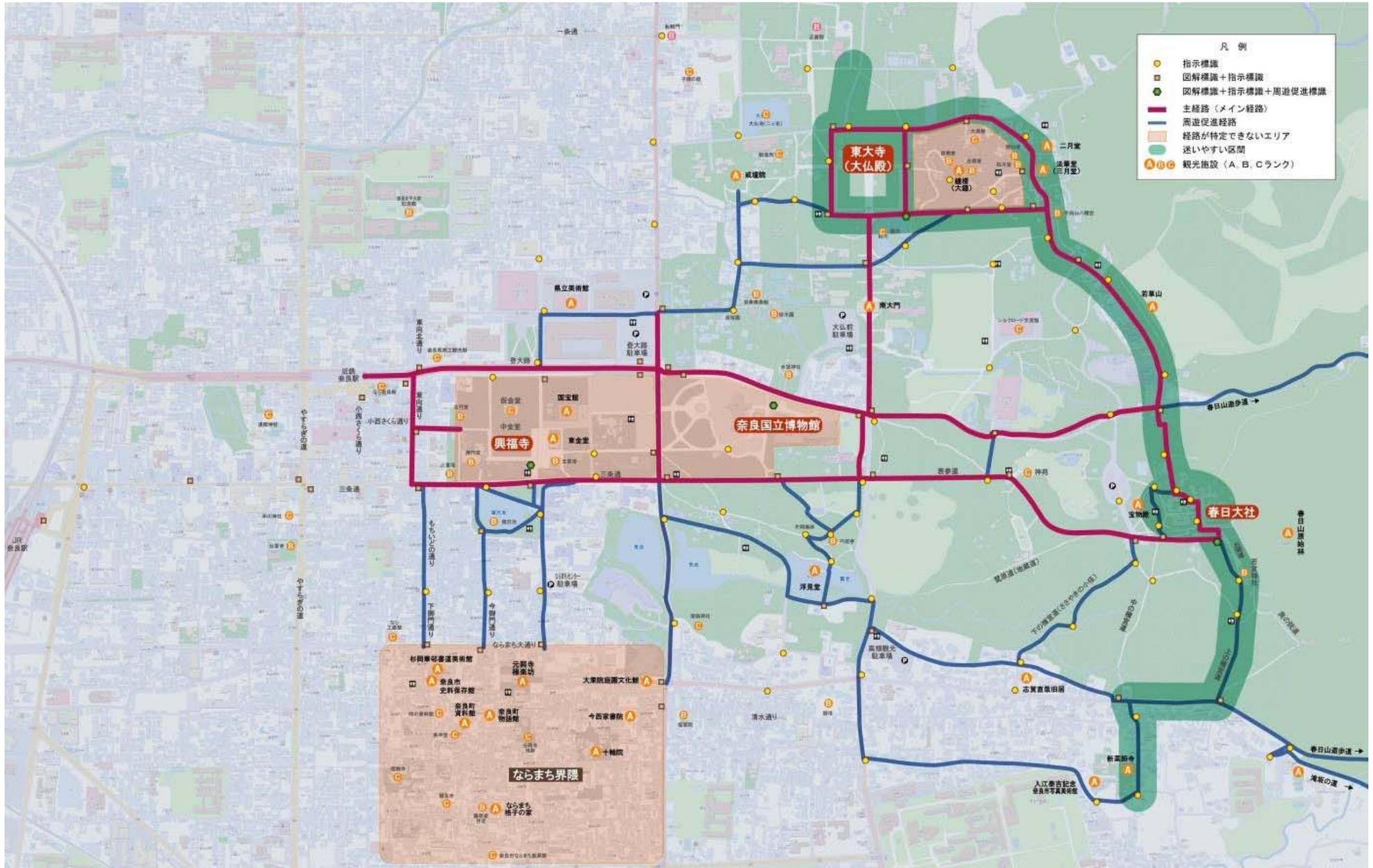
3) 周遊促進標識の配置

○周遊促進標識は、周遊の核となる主要施設に配置する。

周遊促進標識は、主要施設を訪問し終えた観光客が、次の行動に移る際に目にすることができるよう、施設の出口付近に配置することを基本とする。

【参考：奈良公園周辺における全体配置検討例】

図解（地図）標識、指示標識および周遊促進標識の配置方針に基づき、奈良公園周辺で全体配置を検討した結果を以下に示す。



4) 指示標識の連続性検証

○指示標識で案内する具体的内容について、確実に案内される計画になっているかどうか検証を行う。

指示標識の案内地名が一連の動線の中で途切れていたり、矛盾があると、観光客が道に迷う原因にもなるため、指示標識の配置および案内内容が決定した時点で、連続性の検証を行う。

【参考：奈良公園周辺における検証例】

奈良公園周辺における検証例を以下に示す

図表 14 指示標識の連続性検証の内容例（奈良公園周辺）

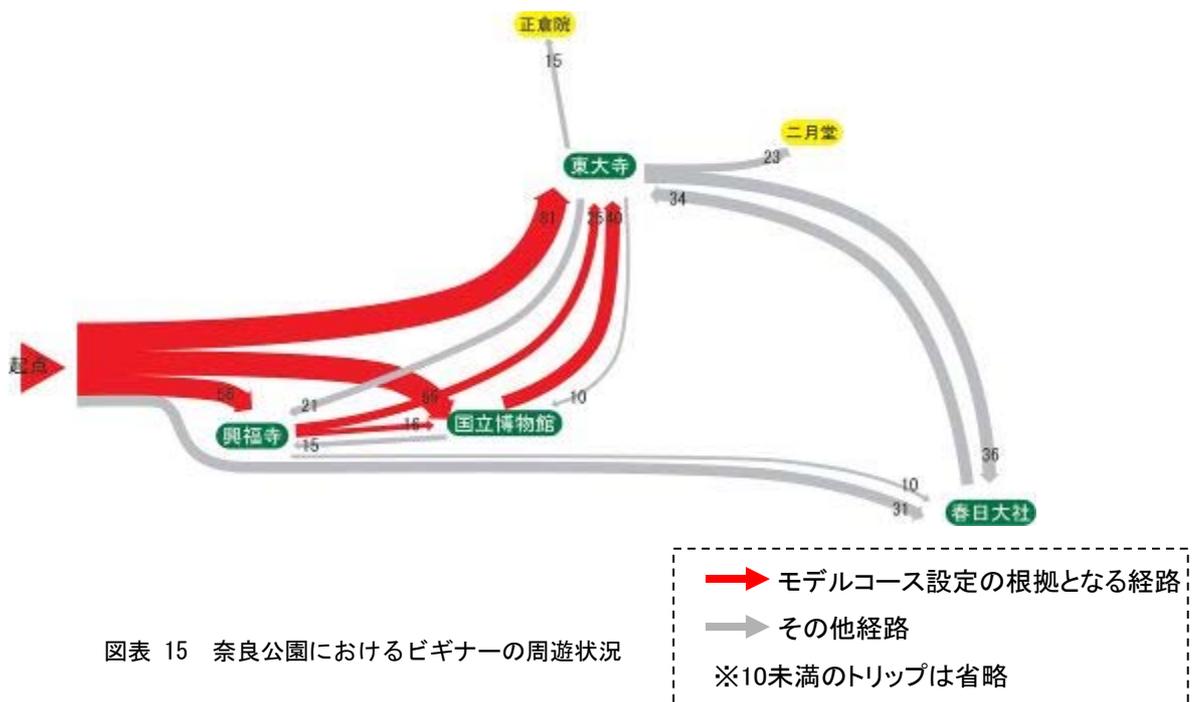
検証方法	・モデルコースを設定し、その経路上の表示を確認する
検証内容	・主要なコースにおける指示標識の連続性 ・交差道路等から合流する場合等における指示標識の連続性

■ モデルコース設定の考え方

- ・ビギナーでは、計 265 人のうち、東大寺への来訪者が 191 人（72%）と最も多く、東大寺を中心とした周遊が多いと考えられる。
- ・東大寺への流入は、観光の起点から直接、または国立博物館・興福寺を経由したものが多。



モデルコースは、近鉄奈良駅から東大寺へのルートとする。



■ 検証結果の表示例

(各地点の表示内容を連続的に整理する)



(参考写真を付加した例)



※図中の合成写真は標識の概ねの設置位置を示したものであり、実際の見え方を正確に表現したものではない。

5) 標識の設置位置の考え方

○標識の設置位置は、安全性、視認性、設置方向等に配慮して選定する。

標識の設置位置の考え方を以下に示す。

■ 交差点における設置位置の考え方

- ・トリップ数の多い主要な動線上からサインの存在を容易に認知できるような位置を選定する。
- ・図解標識の場合は、観光客の主要な動線に対して平行または正面に向くよう設置することを基本とし、現場の状況に応じて適切に判断する。

■ 見通しの悪い屈曲部等における設置位置の考え方

- ・遠方からでもサインの存在を認知できるよう、極力屈曲部の外側で位置を選定する。

■ 色彩による視認性からの設置位置の考え方

- ・サイン設置位置は、選択が可能な場所では、視認性を考慮して背景とのコントラストの高い位置（サインの基調色が蘇芳色（すほういろ）のため、背景が明るい位置）が望ましい。

■ 設置できない箇所の考え方

- ・交差点部で視距が確保出来ない場合。
- ・歩道幅員が狭い等のため 通行を阻害する、または車道と隔離された安全な「たまり空間」がない場合。

(4) デザイン

1) デザインコンセプト

- 奈良をイメージできるモチーフや形の取り込み
- 社寺、街並み、大和青垣など多彩な沿道景観との調和
- 初めて見る人に見やすく分かりやすい表示内容

2) 基調色と基本形状

- 基調色は、蘇芳色（すほういろ）とする。
- 指示標識は矢羽根タイプ、図解標識は支柱タイプを基本とする。
- 図解標識の高さは、歩行者および車いす使用者が共通して見やすい高さとする。
- iマークは、図解（地図）標識を見つけやすい高さで設置する。

基調色：蘇芳色（すほういろ）

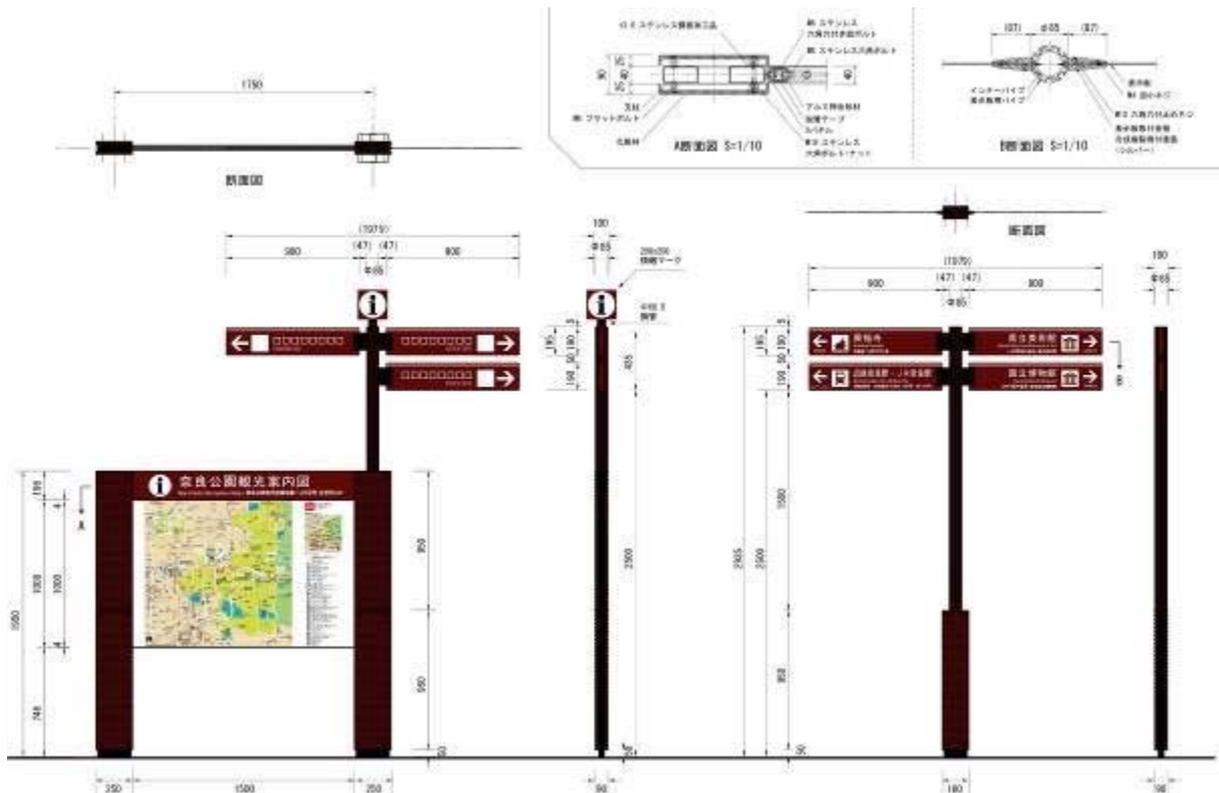


【奈良県章の蘇芳色】（濃色）
マンセル記号 5R2/6(県HP)
DIC-755 (5R2/6の近似色)

図解標識の地図中心の高さは125cm、指示標識の矢羽根下端の高さは250cm（歩道建築限界）を基本とする。

【参考：奈良公園周辺におけるデザイン検討例】

■ 基本形状



【参考：奈良公園周辺におけるデザイン検討例】

■ 裏面デザイン

奈良公園周辺における図解（地図）標識の裏面デザイン案を以下に示す。

なお、周遊促進標識の裏面については、ウォームグレー単色を採用する事を基本とする。



対面歩道等から裏面が見える場合
 【濃グレー】 C:0 M:8 Y:15 K:70
 【薄グレー】 C:0 M:8 Y:15 K:45
 【iマーク】 C:0 M:0 Y:0 K:100



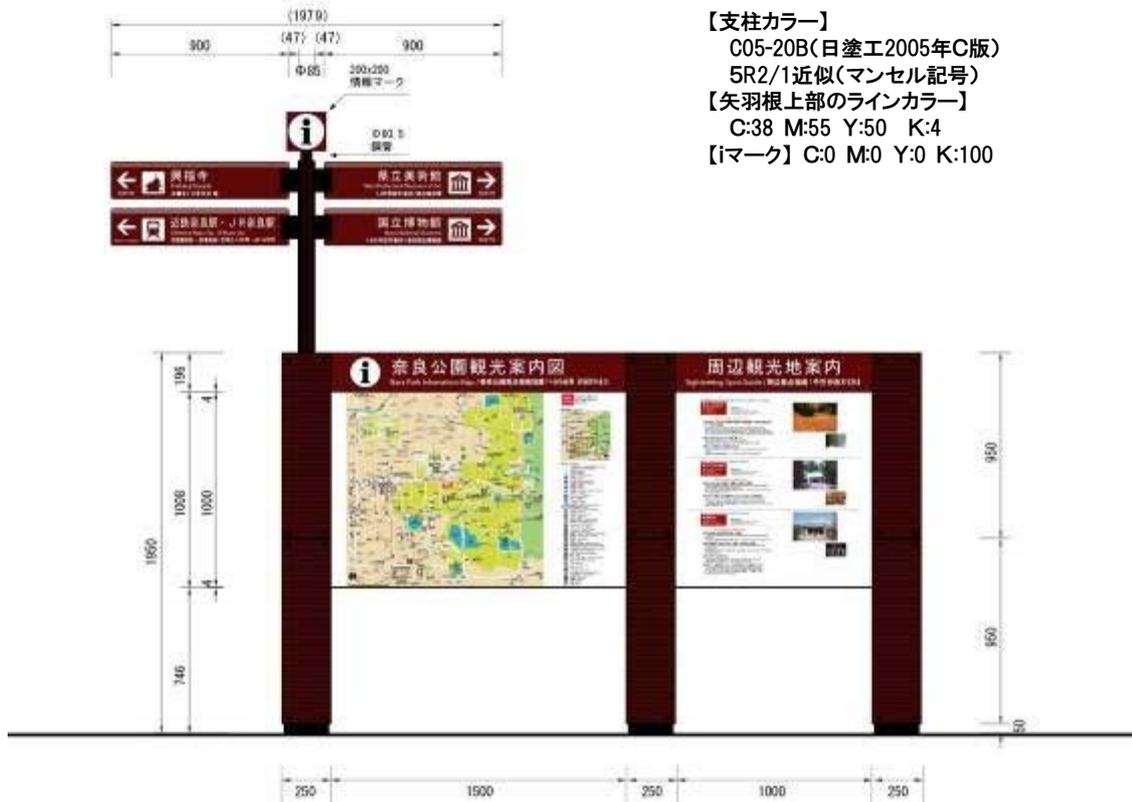
少しだけ裏面が見える場合
 【グレー】 C:0 M:8 Y:15 K:55



壁面等に沿って設置され、裏面が見えない場合

■ 周遊促進標識との組み合わせ例

図解標識、指示標識および周遊促進標識を組み合わせた例を以下に示す。



【支柱カラー】
 C05-20B(日塗工2005年C版)
 5R2/1近似(マンセル記号)
 【矢羽根上部のラインカラー】
 C:38 M:55 Y:50 K:4
 【iマーク】 C:0 M:0 Y:0 K:100

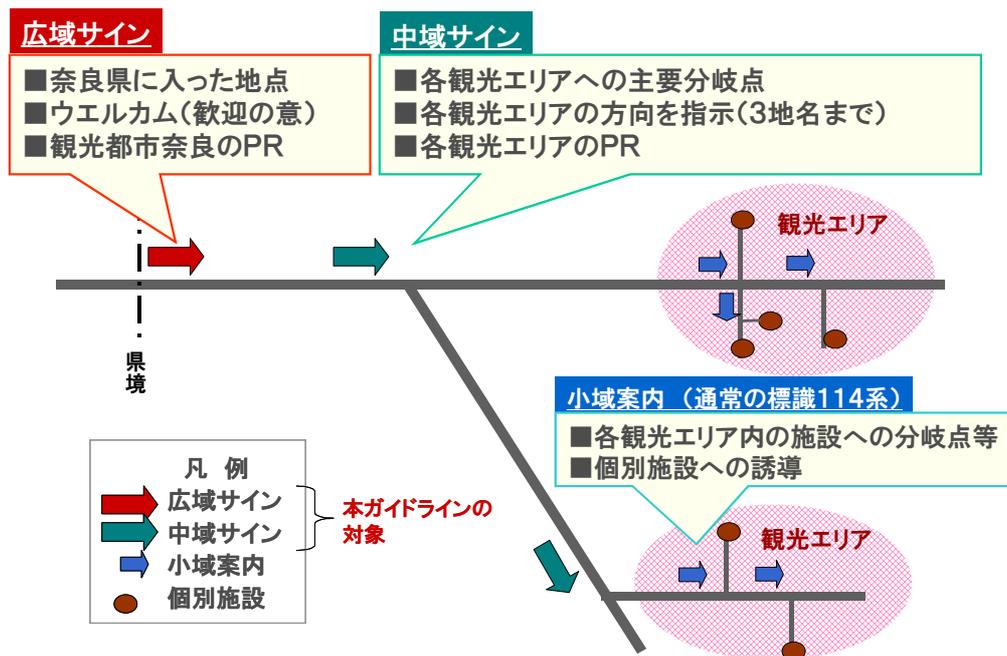
3. 車両系の観光案内サイン

(1) サインの種類

- 本ガイドラインで対象とするサインの種類は、広域および中域の2種類とする。
- 小域の案内については、標識令に基づく著名地点案内標識（114系）によるものとし、広域および中域との連携を図りつつ実施する。小域案内の実施に当たっては、別途、「やさしい奈良のみち案内」を参照することとする。

サインの種類は、広域、中域の2種類とし、それぞれの位置づけを図表1に整理する。

なお、図中の小域案内とは標識令に基づく著名地点案内標識（114系）を指し、それとの連携イメージを示している。すなわち、広域サインでは奈良県境付近でウェルカムサインとして奈良の代表的な観光地をPRし、県内に入った主要な分岐点等で各代表的な観光地エリアの方向を示し、さらにそれぞれの観光エリアに入ってからは個別の施設を通常の標識（114系）で案内していくという流れである。



図表 16 広域・中域サインの位置づけ

(2) 表示内容

- 広域サインでは、歓迎の意をあらわすことに主眼を置き、設置箇所に応じたモチーフを表示する。
- 中域サインでは、主要な観光エリアへの方向案内を行うこととし、各観光エリアに対応したピクトを表示する。また、1箇所につき、最大3地名までの表示とする。

広域・中域サインで対象とする表示内容は図表 17 のとおりとする。
 設置箇所に応じて適切なモチーフ・ピクトおよび観光地を表示する。
 なお、中域サインについては1箇所につき、最大3地名までの表示とする。

図表 17 広域・中域サインの表示内容

	文字（観光地）	モチーフ・ピクト	距離
広域サイン	なら WELCOME TO NARA	鹿（奈良公園） 	距離表示なし
		夢殿（斑鳩） 	
		石舞台（飛鳥・藤原） 	
中域サイン	奈良公園 NARA PARK	鹿 	大仏前交差点 までの距離
	平城宮跡 HEIJOKYUSEKI	朱雀門 	朱雀門の前 までの距離
	西ノ京 NISHINOKYO	三重塔 	薬師寺の門前 までの距離
	飛鳥・藤原 ASUKA-FUJIWARA	石舞台 	明日香村役場 までの距離
	斑鳩 IKARUGA	夢殿 	斑鳩町役場 までの距離
	吉野 YOSHINO	吉野桜 	吉野町役場 までの距離

(3) デザイン

1) 広域サイン

①奈良公園

【国道24号：京都～奈良の県境付近】



ベースカラー



【プロセスカラー】
C:0 M:0 Y:0 K:0
[RGB]
R:255 G:255 B:255

【文字フォント】 和文:新ゴM 文字高 380mm
英文:Vialog Medium 文字高 120mm

※「ら」は大きさを調整した作図文字のため、図として扱うこと。

テキストカラー



【プロセスカラー】
C:78 M:71 Y:63 K:28
[RGB]
R:67 G:69 B:74

オブジェクトカラー



【プロセスカラー】
C:50 M:75 Y:68 K:50
[RGB]
R:80 G:57 B:49



【プロセスカラー】 藤青色(DIC-755)
C:63 M:95 Y:95 K:0
[RGB]
R:107 G:52 B:43



【プロセスカラー】
C:20 M:10 Y:20 K:0
[RGB]
R:215 G:220 B:210

支柱カラー

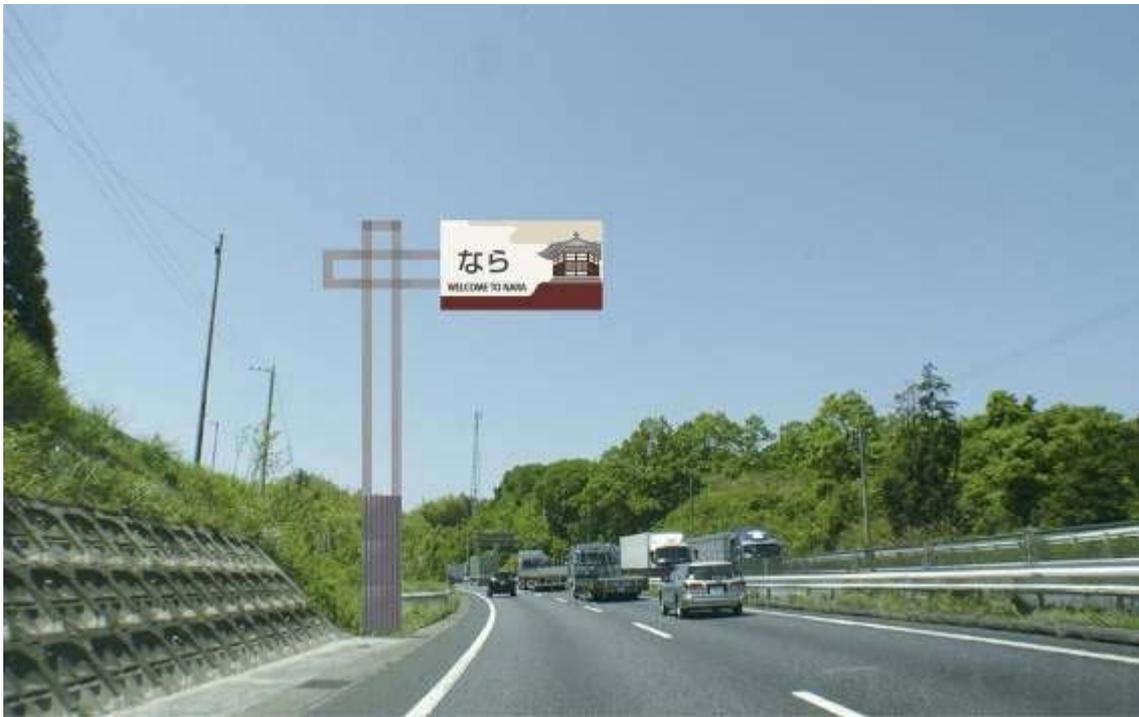


【プロセスカラー】
C:0 M:0 Y:0 K:60
[RGB]
R:102 G:102 B:102



②斑鳩

【名阪国道：三重～奈良の県境付近】



ベースカラー



【プロセスカラー】
C:0 M:0 Y:0 K:0
[RGB]
R:255 G:255 B:255

テキストカラー



【プロセスカラー】
C:78 M:71 Y:63 K:28
[RGB]
R:67 G:69 B:74

オブジェクトカラー



【プロセスカラー】
C:50 M:75 Y:68 K:50
[RGB]
R:80 G:57 B:49



【プロセスカラー】 蘇芳色(DIC-755)
C:63 M:95 Y:99 K:0
[RGB]
R:107 G:52 B:43



【プロセスカラー】
C:0 M:0 Y:0 K:65
[RGB]
R:89 G:89 B:89



【プロセスカラー】
C:0 M:0 Y:0 K:30
[RGB]
R:195 G:196 B:201



【プロセスカラー】
C:12 M:11 Y:21 K:0
[RGB]
R:223 G:216 B:186

支柱カラー



【プロセスカラー】
C:0 M:0 Y:0 K:60
[RGB]
R:102 G:102 B:102

【文字フォント】 和文:新ゴM 文字高 360mm
英文:Vialog Medium 文字高 120mm

※「ら」は大きさを調整した作図文字のため、図として扱うこと。



③飛鳥・吉野

【南阪奈道路：大阪～奈良の県境付近】



ベースカラー



【プロセスカラー】
C:0 M:0 Y:0 K:0
[RGB]
R:255 G:255 B:255

テキストカラー



【プロセスカラー】
C:78 M:71 Y:63 K:28
[RGB]
R:67 G:69 B:74

オブジェクトカラー



【プロセスカラー】
C:50 M:75 Y:68 K:50
[RGB]
R:80 G:57 B:49



【プロセスカラー】 藤青色 (DIC-755)
C:63 M:95 Y:95 K:0
[RGB]
R:107 G:62 B:43



【プロセスカラー】
C:18 M:57 Y:25 K:0
[RGB]
R:190 G:136 B:152



【プロセスカラー】
C:8 M:20 Y:8 K:0
[RGB]
R:230 G:215 B:223



【プロセスカラー】
C:5 M:0 Y:25 K:22
[RGB]
R:205 G:205 B:175

支柱カラー



【プロセスカラー】
C:0 M:0 Y:0 K:80
[RGB]
R:102 G:102 B:102

【文字フォント】 和文:新ゴM / 文字高 360mm
英文:Vialog Medium / 文字高 120mm
※「ら」は大きさを調整した作認文字のため、図として扱うこと。



2) 中域サイン

【国道24号：柏木町交差点付近】



【支柱カラー】
C05-30B(日塗工2005年C版)
5R3/1近似(マンセル記号)

【文字フォント】 和文:新ゴM
英文:Vialog Medium
文字高 300mm
文字高 100mm (ローマ字)
文字高 110mm (数字)
文字高 55mm (kmのみ)
※「J」は文字位置を調整しているため、他の文字と高さを合わせるごと。

[DIC] N-755	[プロセスカラー] C:63 M:95 Y:95 K:0 [RGB] R:111 G:46 B:44
	[プロセスカラー] ※英文の帯に使用 C:38 M:55 Y:50 K:4 [RGB] R:151 G:94 B:88
	[プロセスカラー] C:0 M:0 Y:0 K:0 [RGB] R:255 G:255 B:255

	[プロセスカラー] C:20 M:30 Y:27 K:2 [RGB] R:198 G:162 B:151
※「飛鳥・藤原」の石舞台ピクトのみで使用	

奈良公園		
平城宮跡		
西ノ京		
斑鳩		
飛鳥・藤原		
吉野		

(4) 配置計画

- 広域サインおよび中域サインの配置は、奈良県内の観光利用交通量の多い幹線道路を中心に、各観光地エリアへのアクセス性を考慮して計画する。
- 今後、新たな道路ネットワークが整備された時点で、主要な交差点等において配置の見直しを行うこととする。

1) 対象道路網

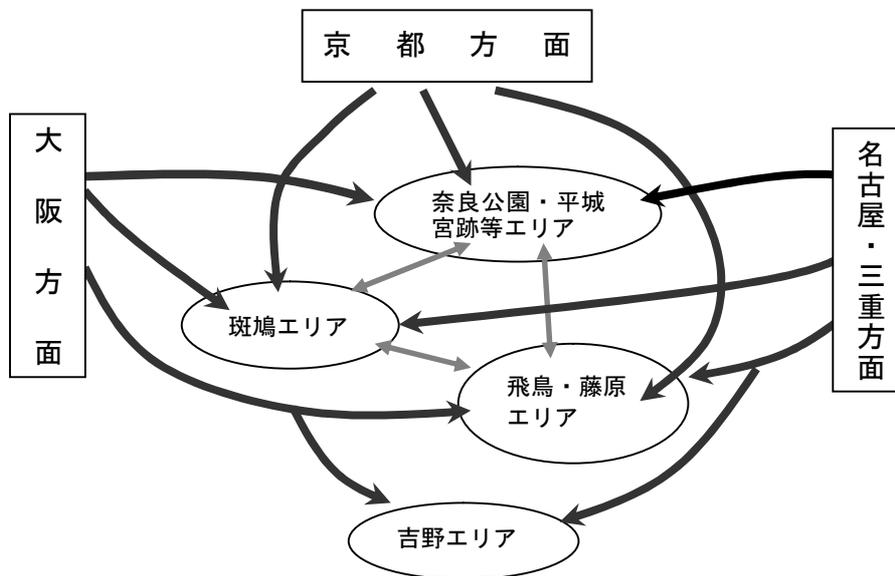
観光交通に関する調査結果等を踏まえて、奈良県内の幹線道路の中から主要な観光ルートを整理した上で、サインの設置対象となる道路ネットワークを設定する。

新たな道路が整備された場合には適宜ネットワークの見直しや追加、修正等を行い、配置計画に反映させることとする。

2) 配置計画の想定交通

配置対象の交通は、県外各方面（大阪、京都、名古屋・三重）から各観光エリアに向かう交通、各観光エリアを行き来する交通を想定する。

なお、奈良公園・平城宮跡・西ノ京エリアは近接しており、これらのエリア間の案内は基本的には小域標識（114系）とする。



図表 18 想定する交通

3) 配置計画

中域サインの設置箇所から見て、案内候補となる観光エリアが4つ以上存在する場合は、以下に配慮しながら、各箇所の状況に応じて案内エリアの優先順位を個別に検討し、3地名を選択する。

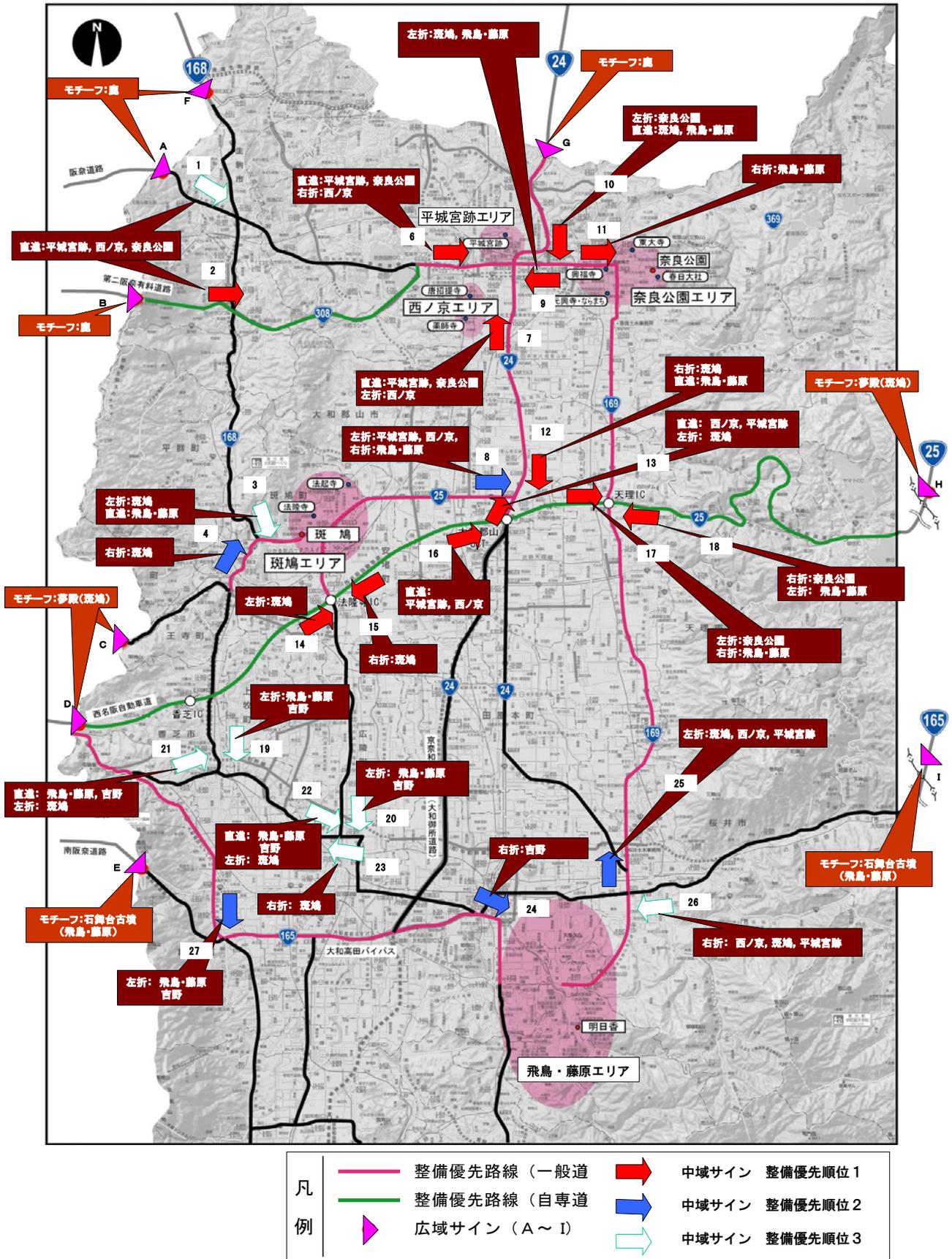
- ・設置箇所から案内対象エリアまでの距離
- ・既存の108系標識での案内状況

【参考：案内対象地名の選定例】

No	計画箇所		案内エリア(候補)					案内エリアの選択(案) (案内エリア候補が4地名以上ある箇所)	
	路線	場所	右:右折案内 左:左折案内 直:直進案内					選択エリア	説明
			奈良公園	西ノ京	平城宮跡	斑鳩	飛鳥・藤原		
1	阪奈道路	辻IC・R168手前	直	直	直	右		西ノ京, 平城宮跡, 奈良公園	斑鳩は既存108系標識で案内されているため案内の必要性は低く, 左記の3地名を案内する。
2	第二阪奈	壱分ランプ・R168手前	直	直	直	右		西ノ京, 平城宮跡, 奈良公園	同上
8	R25	R24手前	左	左	左		右	西ノ京, 平城宮跡, 飛鳥・藤原	どのエリアも既存標識で案内されていない。「飛鳥・藤原方面」は周遊を促す必要から、「飛鳥・藤原」を案内する。また, 奈良公園, 西ノ京, 平城宮跡の中から2地名を選択する必要があるが, 距離的に近い「西ノ京, 平城宮跡」を案内する。
9	R369	R24手前		左	直	左	左	斑鳩, 飛鳥・藤原	どのエリアも既存標識で案内されていない。そこで飛鳥・藤原は, 距離的には遠いが, ここは観光交通が多いため, 周遊を促す効果を見込んで案内する。また, 西ノ京と平城宮跡は, 距離的に小域案内(114系標識)の範疇と考え, 中域サインでは案内しないものとする。
10	R24	R369手前	左	直	右	直	直	奈良公園, 斑鳩, 飛鳥・藤原	西ノ京と平城宮跡は, 距離的に近く, 小域案内(114系標識)で誘導するものとし, 中域サインでは案内しないものとする。
13	R24	R25手前(北向き)	直	直	直	左		西ノ京, 平城宮跡, 斑鳩	どのエリアも既存標識で案内されていない。斑鳩はここが最終の主要分岐であるため案内が必要である。そこで, 奈良公園, 西ノ京, 平城宮跡の中から2地名を選択する必要があるが, 距離的に近い「西ノ京, 平城宮跡」を案内する。
25	R169	R24手前	直	左	左	左		斑鳩, 西ノ京, 平城宮跡	奈良公園は既存108系標識で案内されているため左記の3地名を案内する。
26	R165	桜井明日香吉野線手前	右	右	右	右	左	斑鳩, 西ノ京, 平城宮跡	奈良公園, 吉野は既存108系標識で案内されているため左記の3地名を案内する。

※赤字は選定されたもの。

【参考：車両系案内サインの配置箇所と表示地名検討結果】



4. 観光案内サインのマネジメント

(1) 維持管理とマネジメントの仕組みづくり

- 設置した観光案内サインは、常に適切に情報提供できるよう、表示面の清掃や本体の点検・補修等を行うとともに、観光施設や道路等に変更があった場合には適宜情報の修正、更新を行う。

観光案内サインの機能を適切に保つために、点検と保守が必要である。
点検の結果、異常があれば速やかに補修その他必要な措置をとることとする。

■ 本体の点検および保守は以下を基本とする。

- ・汚れ、埃、落書き等の除去
- ・ガタツキ、ボルトの締付け状況の点検・補修
- ・本体の傷、塗装、錆などの点検・補修

■ 情報内容の点検および保守は以下を基本とする。

- ・部分的修正 施設や道路等に変更があった場合は、迅速に情報を更新する。
部分的な変更には、修正用シートを利用することができる。
- ・全面的な修正 . . . 修正箇所が多い、または経年の褪色等が見られる場合は、全面的に表示面の交換を行う。

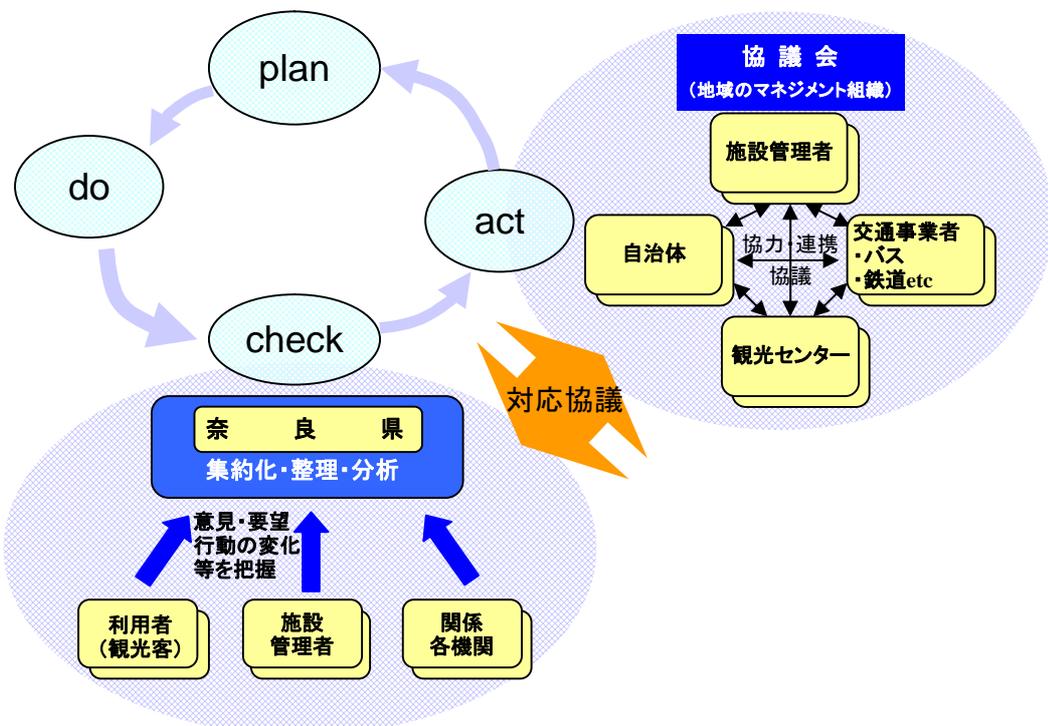
○観光サインのマネジメントにあたっては、道路管理者以外の整備主体、公共交通事業者、観光施設管理者およびその他の観光メディア等も含めた関係各機関が連携・協力しあい、PDCAサイクルによる継続的な取り組みを行う。

観光案内サインの設置主体間での不整合を避け、過不足なく一貫した案内を実現するため、各整備主体等が計画段階から維持管理段階に至るまで、継続して連携・協力するしくみが求められる。

具体的には、計画実施段階では、既存の観光案内の内容・配置等の調整や、相互メディア間における内容の整合等において、綿密な連携・協力が必要である。

例えば図解（地図）標識の場合、奈良県で関係各機関から意見集約して作成した全図データ、文字データベース（施設名の2ヶ国語）を設置主体間で共有（貸与）することにより、観光案内サインの色彩の統一や提供情報の整合が図られる。

また、維持管理段階においては、案内すべき内容の変更・改善、また、利用者（観光客）等の意見等を踏まえた見直しを行うにあたり、地域のマネジメント組織が中心となって自主的に誘導していくことが重要であり、「地域の約束事」の合意に向けた継続的なしくみづくりが必要である。



図表 19 今後の観光案内サインのマネジメントイメージ (例)

5. 参考資料

(1) 奈良公園エリアのアンケート調査票

奈良公園周辺での観光についてのアンケート調査 ご協力のお願い

以下の質問に対し、該当する番号に“○”を付ける、もしくは当てはまる語句や数字をご記入ください。

観光情報の収集について
お聞きします

問1

奈良公園周辺を観光するにあたり、事前に何を見られましたか？
(該当するものすべてに○)

- | | | |
|------------|------------|-----------|
| 1. インターネット | 2. ガイドブック | 3. パンフレット |
| 4. 携帯電話の情報 | 5. その他 () | |
| 6. 何も見ていない | | |

問2

当日、現地で何を見て周遊されましたか？
(該当するものすべてに○)

- | | | |
|----------------|-----------------|------------|
| 1. ガイドブックなどの地図 | 2. 観光案内所で入手した地図 | 3. 案内標識・看板 |
| 4. 携帯電話の地図 | 5. その他 () | |
| 6. 何も見ていない | | |



2 番目に訪れた観光施設	① 2番目に訪れた観光施設 (一つに○)	1. 東大寺(大仏殿含む) 4. 手向山八幡宮 7. 若宮神社 10. 興福寺 13. ならまち界隈	2. 正倉院 5. 若草山 8. 浮見堂 11. 新薬師寺 14. その他 ()	3. 二月堂 6. 春日大社 9. 奈良国立博物館 12. 元興寺
	② この観光施設を訪れたのは何回目ですか? (一つに○)	1. 今回初めて 2. 2回目 3. 3回目以上		
	③ はじめの観光施設からこの観光施設までの交通手段 (一つに○)	1. 徒歩 2. 自転車 3. バイク 4. 自家用車 5. レンタカー 6. タクシー 7. 路線バス 8. 観光バス 9. その他 ()		
	④ 到着/出発の時刻	到着 午前 <input type="text"/> 時 <input type="text"/> 分 ころ 出発 午前 <input type="text"/> 時 <input type="text"/> 分 ころ 午後 <input type="text"/> 時 <input type="text"/> 分 ころ 午後 <input type="text"/> 時 <input type="text"/> 分 ころ		
	⑤ この観光施設に来ることを決めたのは? (一つに○)	1. 奈良公園周辺に来る前から決めていた 2. 奈良公園周辺に来てから決めた 決めた理由? a. 現地で地図やガイドブックを見て決めた b. 案内看板や案内標識で見た c. 観光案内所で聞いた d. 通りすがりに立ち寄った e. その他 () 		
	⑥ この観光施設の魅力度 (1~5の数字を記入)	5点満点で <input type="text"/> 点		



3 番目に訪れた観光施設	① 3番目に訪れた観光施設 (一つに○)	1. 東大寺(大仏殿含む) 4. 手向山八幡宮 7. 若宮神社 10. 興福寺 13. ならまち界隈	2. 正倉院 5. 若草山 8. 浮見堂 11. 新薬師寺 14. その他 ()	3. 二月堂 6. 春日大社 9. 奈良国立博物館 12. 元興寺
	② この観光施設を訪れたのは何回目ですか? (一つに○)	1. 今回初めて 2. 2回目 3. 3回目以上		
	③ 2番目の観光施設からこの観光施設までの交通手段 (一つに○)	1. 徒歩 2. 自転車 3. バイク 4. 自家用車 5. レンタカー 6. タクシー 7. 路線バス 8. 観光バス 9. その他 ()		
	④ 到着/出発の時刻	到着 午前 <input type="text"/> 時 <input type="text"/> 分 ころ 出発 午前 <input type="text"/> 時 <input type="text"/> 分 ころ 午後 <input type="text"/> 時 <input type="text"/> 分 ころ 午後 <input type="text"/> 時 <input type="text"/> 分 ころ		
	⑤ この観光施設に来ることを決めたのは? (一つに○)	1. 奈良公園周辺に来る前から決めていた 2. 奈良公園周辺に来てから決めた 決めた理由? a. 現地で地図やガイドブックを見て決めた b. 案内看板や案内標識で見た c. 観光案内所で聞いた d. 通りすがりに立ち寄った e. その他 () 		
	⑥ この観光施設の魅力度 (1~5の数字を記入)	5点満点で <input type="text"/> 点		



観光行動の終点	奈良公園周辺における観光行動の終点と到着時刻をお書きください。		今回の観光で4番目以降に訪れた観光施設があればお書きください。番号または名称をお書きください。
	観光行動の終点 (一つに○) 1. 近鉄奈良駅 2. JR奈良駅 3. 駐車場 (奈良公園周辺) 4. バス停 (奈良公園周辺) 5. その他 ()	到着時刻 午前/午後 <input type="text"/> 時 <input type="text"/> 分 ころ 午後 <input type="text"/> 時 <input type="text"/> 分 ころ	

問4 どのようなルートで回りましたか？
地図上に、分ける範囲でお書きください。

【記入例】

通ったルートを線で書き、訪れた観光施設を○、利用した遊歩・レストラ
ン等の場所を△印、お土産等の買い物をした場所を□印を付してください。

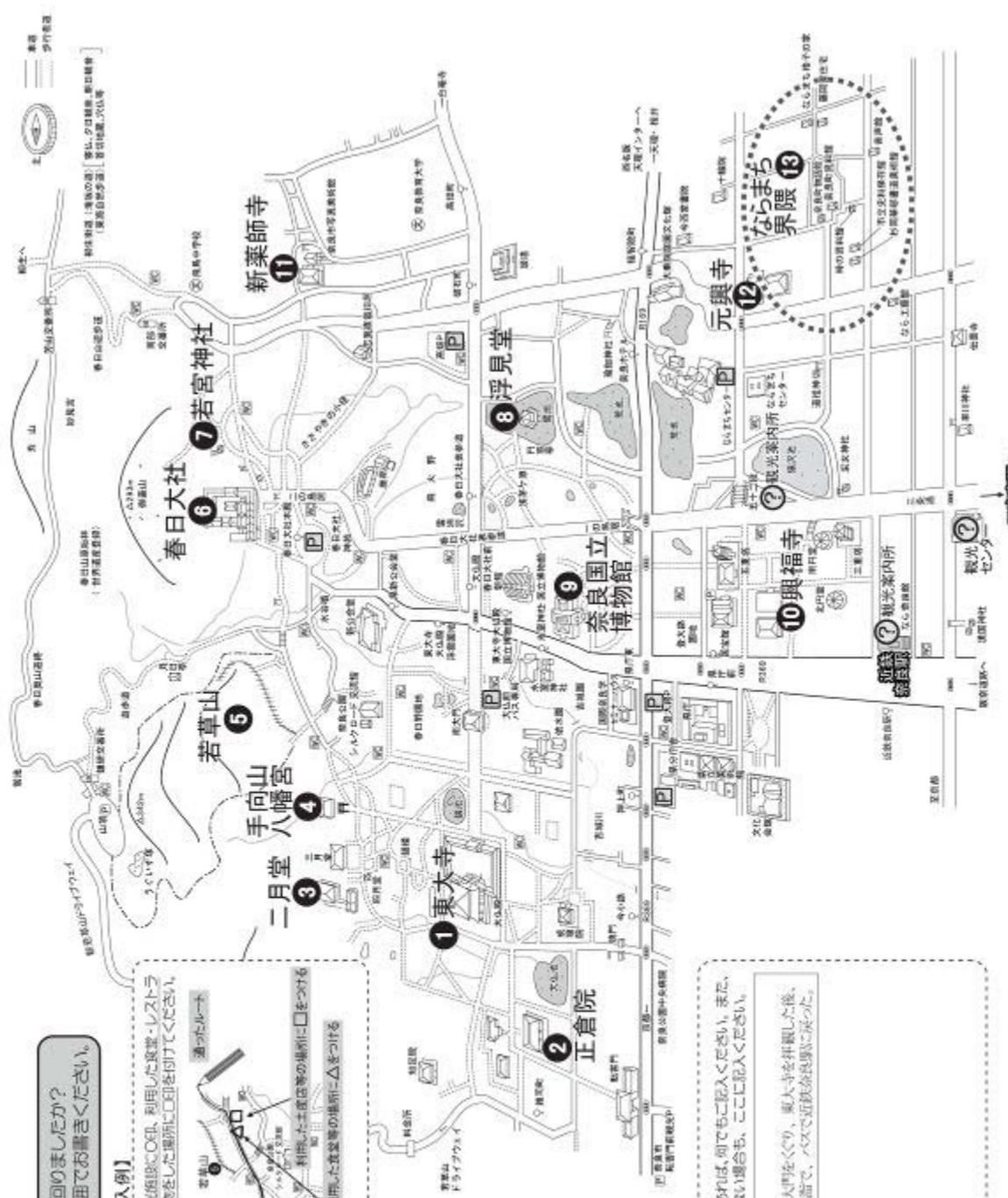


※記入は、分ける範囲で可能です。

遊んだルートについてコメントがあれば、何でも記入ください。また、
ルートを地図上うまく書き込めない場合も、ここに記入ください。

【記入例】

近鉄奈良駅から県庁前を通って南大門をめぐり、東大寺を拝観した後、
若草山のふもとを通って春日大社に詣で、バスで近鉄奈良駅まで戻った。



問5

迷った箇所はありましたか？（一つに〇）

1. 迷った 2. 少し迷った 3. 迷わなかった

迷った方のみ
ご記入ください

● 迷ったのは、どの施設からどの施設への移動ですか？
下記選択肢をご覧になり、番号を記入してください。

から から から から

観光施設等の選択肢

0. 出発地点	1. 東大寺（大仏殿含む）	2. 正倉院	3. 二月堂
4. 手向山八幡宮	5. 若草山	6. 春日大社	7. 若宮神社
8. 浮見堂	9. 奈良国立博物館	10. 興福寺	11. 新薬師寺
12. 元興寺	13. ならまち界隈	14. 到着地点	
15. その他（ ）	16. その他（ ）	17. その他（ ）	

● 迷ったときの状況など、ご自由にご記入ください。

各種施設の利用や、興味のある観光施設などについてお聞きします

問6

奈良公園周辺にあるトイレや観光案内所などの利用についてお聞きします。

①トイレについてお気づきの点は？（該当するものすべてに〇）

1. 数が少ない 2. どこにあるのか分からない 3. その他（ ）

②レストランや食堂などの飲食店を利用されましたか？（一つに〇）

1. 利用した 2. 利用しなかった

理由は？

● 利用しなかった理由は何ですか？（一つに〇）

1. お腹がすかなかった

2. 弁当などを持参した

3. コンビニなどで買って食べた

4. 入りたい店がなかった

5. どこに店があるのか分からなかった

6. その他（ ）

③観光案内所は利用されましたか？（一つに〇）

1. 利用した 2. 利用しなかった

理由は？

● 利用しなかった理由は何ですか？（一つに〇）

1. 聞く必要がなかった

2. 観光案内所があることを知らなかった

3. 観光案内所の場所が分からなかった

4. その他（ ）

④トイレ、観光案内所以外でどのような施設があれば良いと思いますか？
(以下から3つの番号を選んで○)

- | | | | | | | |
|-----------|--------------------|---------|----------------------|--------|-------------|------------|
| 商業施設 | 1. 売店 | 2. 土産物店 | 3. 料理店 | 4. 喫茶店 | | |
| 観賞・鑑賞施設 | 5. 花壇 | 6. 噴水 | 7. 植物園 | 8. 美術館 | 9. 野外劇場・音楽堂 | |
| 遊び・スポーツ施設 | 10. 遊具(すべり台、ブランコ等) | | | | 11. プール | 12. テニスコート |
| 休憩・宿泊施設 | 13. 旅館・ホテル | | 14. 簡易宿泊(バンガロー、ヒュッテ) | | 15. 浴室・温泉 | |
| | 16. 乳幼児設備 | | 17. 休憩所・待合所 | | 18. ベンチ | |
| コンベンション施設 | 19. 会議施設 | | 20. 迎賓館 | | | |

問7

今回の観光では行かなかったが、興味のある(行ってみたい)施設・場所がありますか？(該当するものすべてに○)

- | | | | |
|---------------|-------------|----------|-----------|
| 1. 東大寺(大仏殿含む) | 2. 正倉院 | 3. 二月堂 | 4. 手向山八幡宮 |
| 5. 若草山 | 6. 春日大社 | 7. 若宮神社 | 8. 浮見堂 |
| 9. 奈良国立博物館 | 10. 興福寺 | 11. 新薬師寺 | 12. 元興寺 |
| 13. ならまち界限 | 14. その他 () | | |



● どれかに○を付けられた方、今回行かなかった主な理由は何ですか？(一つに○)

- | | |
|------------------|-------------------|
| 1. 時間がなかった | 2. 遠かった(行くのがしんどい) |
| 3. 行き方がよく分からなかった | 4. その他 () |

問8

奈良公園周辺での観光について、何かあればご自由にお書きください。

[]

あなた自身について
お聞きします

問9 あなたの、年齢、性別、職業についてご記入ください。

年齢	10 歳代	20 歳代	性別	男性・女性	職業	1. 会社員・公務員	2. 会社役員
	30 歳代	40 歳代		3. 自営業		4. パート・アルバイト	
	50 歳代	60 歳代		5. 学生		6. 家事専業	
	70 歳代	80 歳以上		7. 無職		8. その他()	

問10 あなたのお住まいはどちらですか？

都 道 市 区
府 県 町 村

今回のご旅行について
お聞きします

問11 どなたとご一緒でしたか？（一つに○）

1. 自分1人 2. 家族・親戚 3. 恋人、友人、知人、会社の同僚
4. 団体（クラブ、親睦会、視察等） 5. その他()

問12 観光の日程などについてお聞きします。

①奈良公園周辺への観光は何回目ですか？（一つに○）

1. 今回はじめて 2. 2回目 3. 3回目 4. 4回目 5. 5回目以上

②どのような日程でしたか？（一つに○）

1. 日帰り 2. 宿泊(泊)

● 宿泊した場所はどこですか？
(該当するものすべてに○)

1. 奈良市 2. 奈良県(奈良市以外)
3. 大阪府 4. 京都府
5. 兵庫県 6. 近畿地方(1~5以外)
7. その他()

問13 奈良公園周辺までの交通手段は何でしたか？（該当するものすべてに○）

a. 徒歩	b. 自転車	c. バイク	d. 自家用車
e. レンタカー	f. タクシー	g. 路線バス	h. 空港バス
i. 観光バス	j. JR	k. 近鉄電車	l. 私鉄/地下鉄
m. 船舶	n. 飛行機(伊丹空港着)	o. 飛行機(関西国際空港着)	p. その他()

以上で質問は終わりです。ご協力ありがとうございました。

(2) 文字の書体・大きさ

○図解（地図）標識に表示する文字は、「地図を用いた道路案内標識ガイドブック」に準じ、視距離 50cm を想定、和文 5mm、英文 4mm 以上とした。

○指示標識、周遊促進標識については、文字情報内容により調整を行い、できるだけ大きいスケールで表示する。

■ 歩行者系の観光案内サイン

区分		フォント	文字高さ
指示標識		和文：新ゴシックM	60mm
		英文：Vialog Regular	20mm
図解(地図)標識	地図内	和文：新ゴシックM	5～18mm
		英文：Helvetica Narrow	4～14mm
	凡例	和文：新ゴシックM	10.5mm
		英文：Helvetica	8mm
	裏面 標題	和文：新ゴシックM	55mm
		英文：Vialog Medium	39mm
周遊促進標識		和文：新ゴシックM	9～15mm
		英文：Vialog Medium	6～8mm

(3) 外国語表記

○歩行者系の観光案内サインはユニバーサルデザインの観点から、図解（地図）標識の凡例、指示標識、説明標識は4ヶ国語表記とし、地図内の表示は繁雑さを避けるため2ヶ国語表記を基本とする。

○施設名称などの表記において、表示の繁雑さを回避し簡潔な表現を行う。

○表示方法は、地域内で決めて統一した使用をする。施設名称は、その名称から何の施設か分からない場合は、普通名詞を併記した方が理解しやすい。

■ 日本語表記の考え方

表記例	表記の考え方
法華堂（二月堂） 奈良県商工観光館 （きてみて なら SHOP）	・正式名称、通称、略称などの表記ルールを明確にし、地域で統一して用いる。
奈良市ならまち格子の家 奈良市杉岡華邨書道美術館	・表示面の煩雑化を防ぐために、明確に理解される範囲内で省略できる部分を省略する。
J R N T T	・アルファベットによる名称が簡略化されている場合は、それを用いてもよい。

■ 英語（ローマ字）表記の考え方

表記例	表記の考え方
奈良公園 Nara Park	・固有名詞はローマ字、普通名詞は英語で表記する
「Mt. Ooyama」 「Oogawa River」 「Oen Park」 「Obashi Br.」	・固有名詞の一部であるとみなされ音読みで通じない場合、左記の様に表記する。ただし、「Mt. Fuji」の様に別の表記が定着している場合は、この限りではない。
一の鳥居 Ichino-torii Gate	・固有名詞のみのローマ字表記には、意味が伝わる英語を補足する。ただし、別の表記が定着している場合は、この限りではない。
Station Sta. University Univ.	・略語が慣用化されている場合は、略語を用いる事ができる。
Kasuga Grand Shrine Kasuga Taisha Shrine Kasuga-taisya Grand Shrine	・施設名は地域において統一した英語表記を使用する。
Yasuragi-no-michi	・ローマ字表記は日本語より字数が過多となり、判読性を損なう恐れがあるため、長文の場合、2段書き、あるいはハイフンでつなぐなど工夫を加えることが望ましい。
次頁の表参照	・ローマ字表記については、ヘボン式を用いる。

■ ヘボン式ローマ字の綴り

※下線は、間違えやすい綴りを示す。

日本語音					ヘボン式音				
あ	い	う	え	お	a	i	u	e	o
か	き	く	け	こ	ka	ki	ku	ke	<u>ko</u>
さ	し	す	せ	そ	sa	<u>shi</u>	su	se	so
た	ち	つ	て	と	ta	<u>chi</u>	<u>tsu</u>	te	to
な	に	ぬ	ね	の	na	ni	nu	ne	no
は	ひ	ふ	へ	ほ	ha	hi	fu	he	ho
ま	み	む	め	も	ma	mi	mu	me	mo
や		ゆ		よ	ya		yu		yo
ら	り	る	れ	ろ	ra	ri	ru	re	ro
わ					wa				
ん					n				
が	ぎ	ぐ	げ	ご	ga	gi	gu	ge	go
ざ	じ	ず	ぜ	ぞ	za	<u>ji</u>	zu	ze	zo
だ	ぢ	づ	で	ど	da	<u>ji</u>	zu	de	do
ば	び	ぶ	べ	ぼ	ba	bi	bu	be	bo
ぱ	ぴ	ぷ	ぺ	ぽ	pa	pi	pu	pe	po
きゃ		きゅ		きょ	kya		kyu		kyo
しゃ		しゅ		しょ	sha		shu		sho
ちゃ		ちゅ		ちょ	cha		chu		cho
にゃ		にゅ		にょ	nya		nyu		nyo
ひゃ		ひゅ		ひょ	hya		hyu		hyo
みゃ		みゅ		みょ	mya		myu		myo
りゃ		りゅ		りょ	rya		ryu		ryo
ぎゃ		ぎゅ		ぎょ	gya		gyu		gyo
じゃ		じゅ		じょ	<u>ja</u>		<u>ju</u>		<u>jo</u>
びゃ		びゅ		びょ	bya		byu		byo
ぴゃ		ぴゅ		ぴょ	pya		pyu		pyo

■ ヘボン式ローマ字の間違えやすいポイント

- ① 音を表わす「-」、「^」は付さない。また、hやoは長音を表わすためには用いない。
大阪(おおさか) Osaka 京都(きょうと) Kyoto 大宮町(おおみやちょう) Omiyacho
- ② はねる音「ん」はnで表わすが、ただしm、b、pの前ではmを用いる。
大安寺 Daianji 難波 Namba 丹波橋 Tambabashi
- ③ はねる音を表わすnと次にくる母音字又はyとを切り離す必要がある場合は、nの次に(´)を入れることが望ましい。下記の例では「(にょ) nyo」、「(にゃ) nya」、「(に) ni」と間違えやすくなる。
陰陽町 In'yo-cho 阪新屋町 Sakanoshin'yacho 十輪院 Jurin'in Temple
- ④ つまる音は、最初の子音字を重ねて表わす。ただし、次にchが続く場合にはcを重ねずtを用いる。
法華寺 Hokkeji Temple 仏地院 Butchiin

(4) ピクトグラム

- ピクトグラムは、種類が増えることにより分かりにくくなるため、認知度の高いピクトグラムのみ表示し種類は減らすことが望ましい。
- ピクトグラムは標準案内用図記号のデザインに準拠することを基本とするが、奈良県など国内複数の自治体で既に使われているピクトグラムのうち、委員会にて承認を受けた下記については表示する。

■ 奈良県や国内複数の自治体で使用されているピクトグラム

ピクトグラム	出典・選定理由
 <p>寺院</p>	<p>「やさしい奈良のみち案内」(2001. 4、奈良県土木部)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・既存標識に既に使用されているため、整合性に配慮して選定。
 <p>神社</p>	<p>「やさしい奈良のみち案内」(2001. 4、奈良県土木部)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・既存標識に既に使用されているため、整合性に配慮して選定。
 <p>庭園</p>	<p>「道路標識設置基準・同解説」(S62. 1、(社)日本道路協会)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国内複数の自治体で既に使われているため、汎用性に配慮して選定。
 <p>官公庁</p>	<p>「地図を用いた道路案内標識ガイドブック」 (2003. 11、国土交通省道路局監修)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・官公庁のピクトグラムとして、一般的に使われているため選定。
 <p>避難場所</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・奈良県で既に使われているため、「避難場所」として選定。 ・「広域避難場所」については、JIS化されている標準案内用図記号のピクトグラムを使用する。
 <p>停留所</p>	<p>「奈良公園ウォークマップ」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「地図を用いた道路案内標識ガイドブック」の表示とは異なるが、奈良県で既に使われているため、汎用性に配慮して選定。

■ 標準案内用図記号のピクトグラム

標準案内用図記号一覧（125項目のうち104項目がJIS化）

公共・一般施設 Public Facilities

							
案内所 Question & answer	情報コーナー Information	病院 Hospital	救護所 First aid	警察 Police	お手洗 Toilets	男子 Men	女子 Women
							
身障者用設備 Accessible facility	車椅子スロープ Accessible slope	飲料水 Drinking water	喫煙所【※1】 Smoking area	チェックイン/受付 Check-in / Reception	忘れ物取扱所 Lost and found	ホテル/宿泊施設 Hotel / Accommodation	きっぷうりば/精算所 Tickets / Fare adjustment
							
手荷物一時預かり所 Baggage storage	コインロッカー Coin lockers	休憩所/待合室 Lounge / Waiting room	ミーティングポイント Meeting point	銀行・両替 Bank, money exchange	キャッシュサービス Cash service	郵便 Post	電話 Telephone
							
ファックス Fax	カート Cart	エレベーター Elevator	エスカレーター Escalator	階段 Stairs	乳幼児用設備 Nursery	クローク Cloakroom	更衣室 Dressing room
							
更衣室(女子) Dressing room(women)	シャワー Shower	浴室 Bath	水飲み場 Water fountain	くず入れ Trash box	リサイクル品回収施設 Collection facility for the recycling products		

交通施設 Transport Facilities

							
航空機/空港 Aircraft / Airport	鉄道/鉄道駅 Railway / Railway station	船舶/フェリー/港 Ship / Ferry / Port	ヘリコプター/ヘリポート Helicopter / Heliport	バス/バスのりば Bus / Bus stop	タクシー/タクシーのりば Taxi / Taxi stop	レンタカー Rent a car	自転車 Bicycle
							
ロープウェイ Cable car	ケーブル鉄道 Cable railway	駐車場 Parking					
							
出発 Departures	到着 Arrivals	乗り継ぎ Connecting flights	手荷物受取所 Baggage claim	税関/荷物検査 Customs / Baggage check	出国手続/入国手続/検疫/書類審査 Immigration / Quarantine / Inspection		

商業施設 Commercial Facilities

							
レストラン Restaurant	喫茶・軽食 Coffee shop	バー Bar	ガソリンスタンド Gasoline station	会計 Cashier	店舗/売店 Shop	新聞・雑誌 Newspapers, magazines	薬局 Pharmacy
							
理容/美容 Barber / Beauty salon	手荷物託配 Baggage delivery service						

■水色に着色されているものは、JIS化されていません。
 ■**YOS**のあるものは、通貨記号の差し替えが可能です。
 ■**文字**のあるものは、文字による補助表示が必要です。

観光・文化・スポーツ施設 Tourism, Culture, Sports Facilities

							
展望地/景勝地 View point	陸上競技場 Athletic stadium	サッカー競技場 Football stadium	野球場 Baseball stadium	テニスコート Tennis court	海水浴場/プール Swimming place	スキー場 Ski ground	キャンプ場 Camp site
							
温泉 Hot spring	公園 Park	博物館/美術館 Museum	歴史的建造物 Historical monument	応用例1 variant 1	応用例2 variant 2	自然保護 Nature reserve	スポーツ活動 Sporting activities
							
スカッシュコート Squash court	Tバーリフト T bar lift	腰掛け式リフト Chairlift					

安全 Safety

				
消火器 Fire extinguisher	非常電話 Emergency telephone	非常ボタン Emergency call button	非常口 Emergency exit	広域避難場所 Safety evacuation area

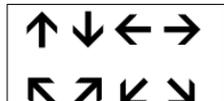
禁止 Prohibition

							
一般禁止 General prohibition	禁煙【※2】 No smoking	火気厳禁 No open flame	進入禁止 No entry	駐車禁止 No parking	自転車乗り入れ禁止 No bicycles	立入禁止 No admittance	走るな/かけ込み禁止 Do not rush
							
さわらな Do not touch	捨てるな Do not throw rubbish	飲めない Not drinking water	携帯電話使用禁止 Do not use mobile phones	電子機器使用禁止 Do not use electronic devices	撮影禁止 Do not take photographs	フラッシュ撮影禁止 Do not take flash photographs	ベビーカー使用禁止 Do not use prams
				<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">  <p>※2: 火災予防条例で上記の図記号の使用が規定されている場所には、上記の図記号を使用する必要があります。</p> </div>			
遊泳禁止 No swimming	キャンプ禁止 No camping	飲食禁止 Do not eat or drink here	ペット持ち込み禁止 No uncaged animals				

注意 Warning

							
一般注意 General caution	障害物注意 Caution, obstacles	上り段差注意 Caution, uneven access / up	下り段差注意 Caution, uneven access / down	滑面注意 Caution, slippery surface	転落注意 Caution, drop	天井に注意 Caution, overhead	感電注意 Caution, electricity

指示 Mandatory

							
一般指示 General mandatory	静かに Quiet please	左側にお立ちください Please stand on the left	応用例(右側にお立ちください) variant (Please stand on the right)	二列並び Line up in twos	応用例1(一列並び) variant1 (Line up single file)	応用例2(三列並び) variant 2 (Line up in threes)	応用例3(四列並び) variant 3 (Line up in fours)
							
矢印【※3】 Directional arrow	安全バーを閉める Close safety bar	安全バーを開ける Open safety bar	徒歩客は降りる Get off	スキーの先を上げる Raise ski tips	スキーヤーは降りる Skiers have to get off	※3: 応用例 variants	